

平成記念病院

リハビリテーション インディケーター



Indicator 2022

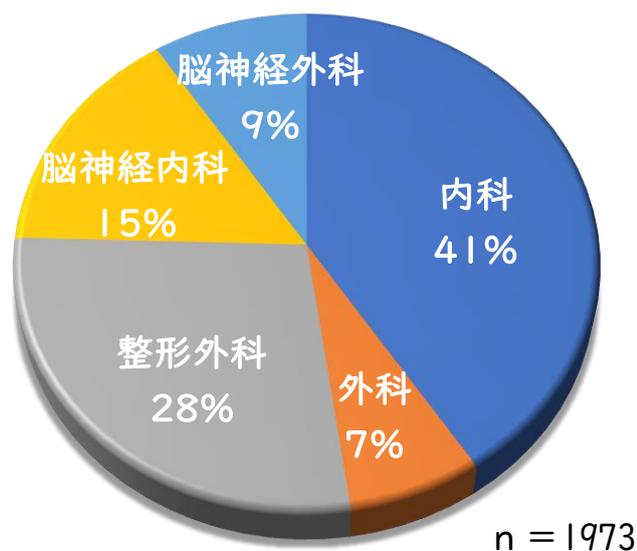
Department of rehabilitation

一般急性期病棟

リハビリテーション実施患者

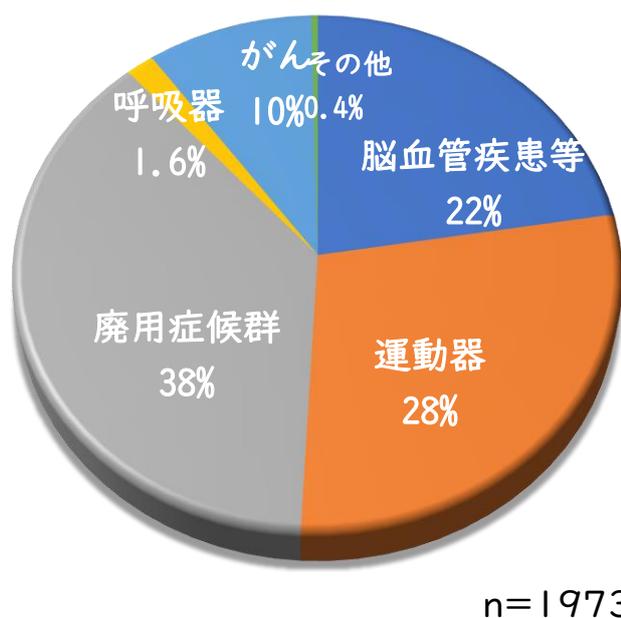
▶診療科別割合

内 科	805件
整形外科	547件
脳神経内科	302件
脳神経外科	182件
外 科	137件



▶疾患別リハビリテーション割合

脳血管疾患等	443件
廃用症候群	743件
運動器	560件
呼吸器	32件
がん	188件
その他※	7件



※その他は摂食機能療法のみ実施された患者

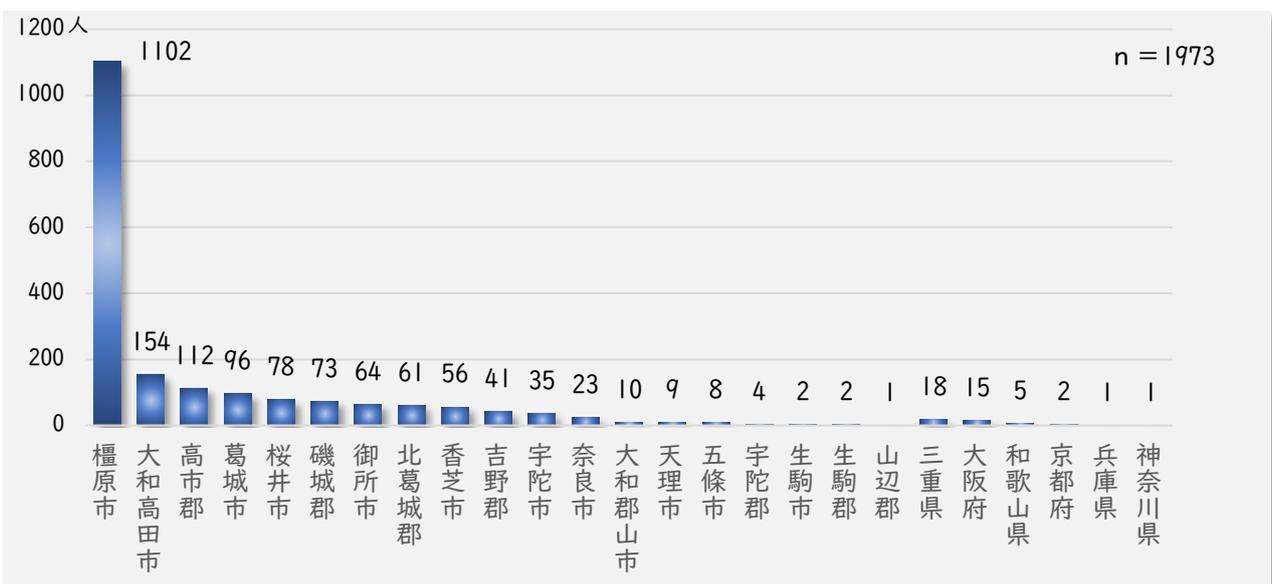
▶ 年齢・性別構成



▶ 在院日数

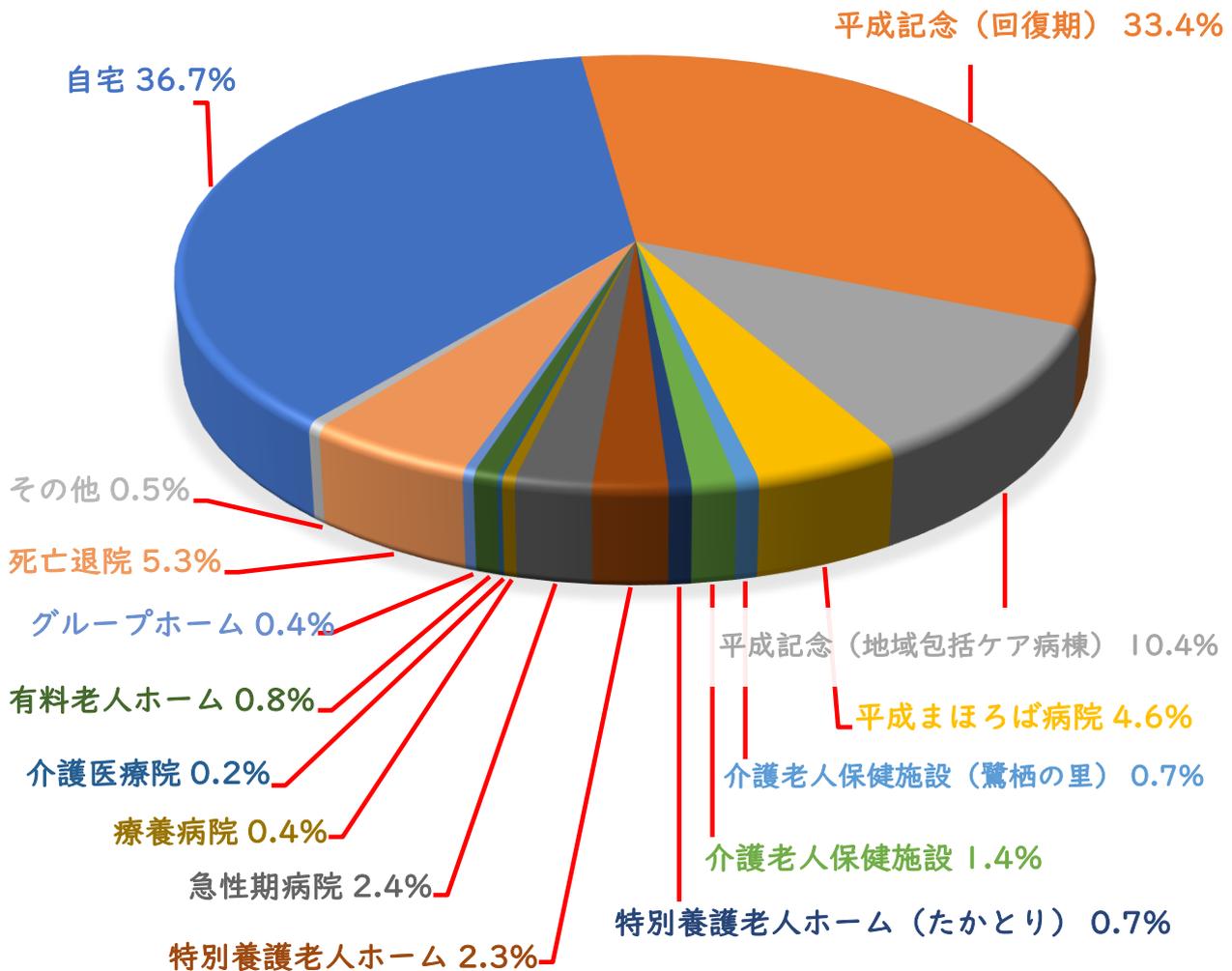


▶ 患者住所



▶退院先

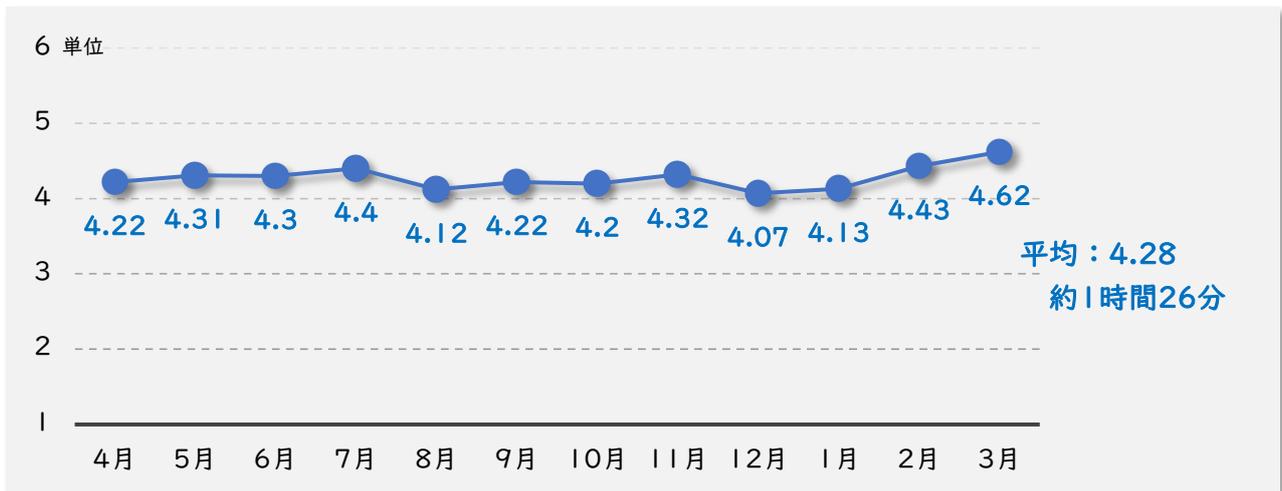
n=1973



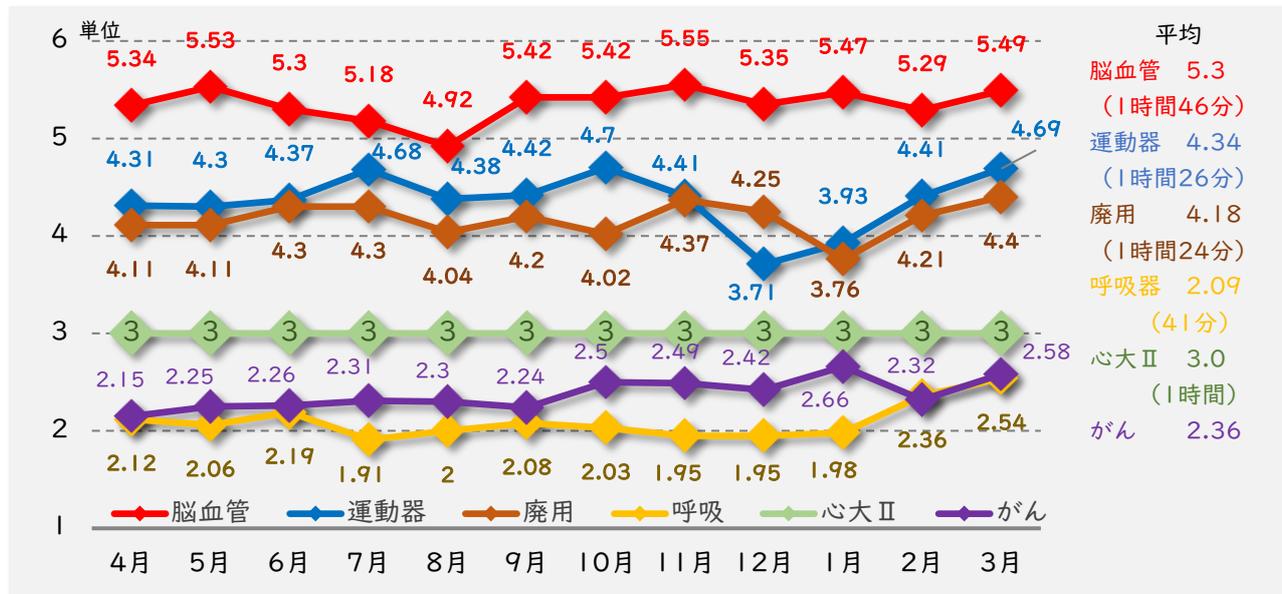
退院先	人数	退院先	人数
自宅	724	急性期病院	47
平成記念病院（回復期リハ病棟）	659	療養病院	8
平成記念病院（地域包括ケア病棟）	206	介護医療院	3
平成まほろば病院（回復期リハ病院）	90	有料老人ホーム	15
介護老人保健施設（鷺栖の里）	14	グループホーム	7
介護老人保健施設	27	死亡退院	104
特別養護老人ホーム（たかとり）	14	その他	9
特別養護老人ホーム	46		

リハビリテーション実施単位数

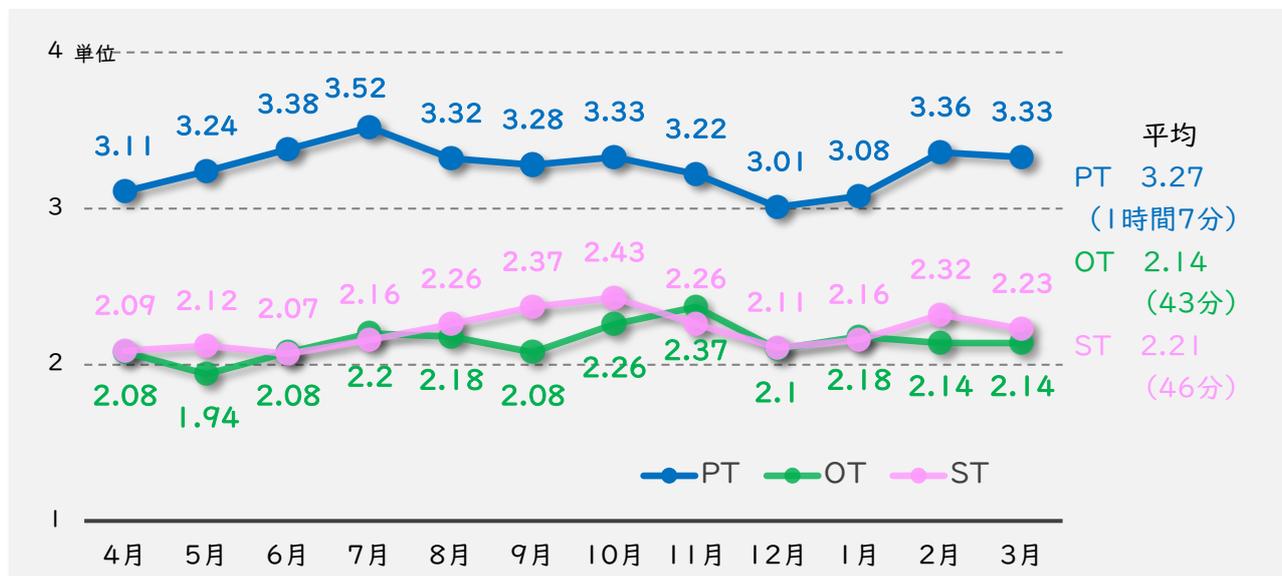
▶患者1人当たりのリハビリテーション実施単位数



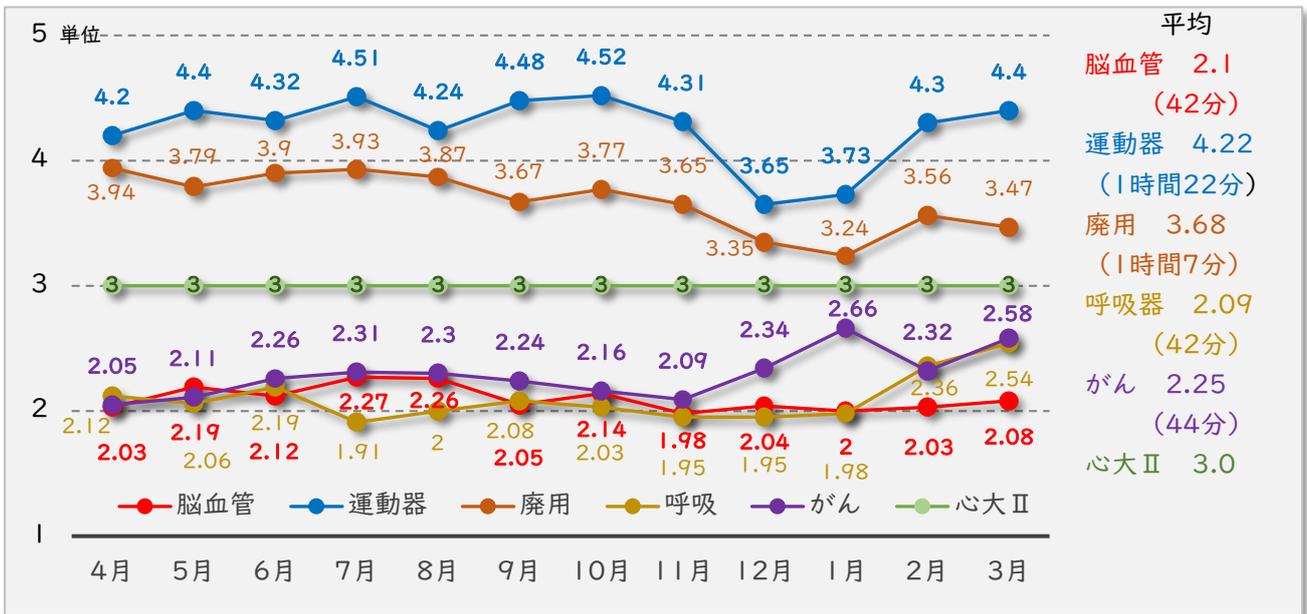
▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数



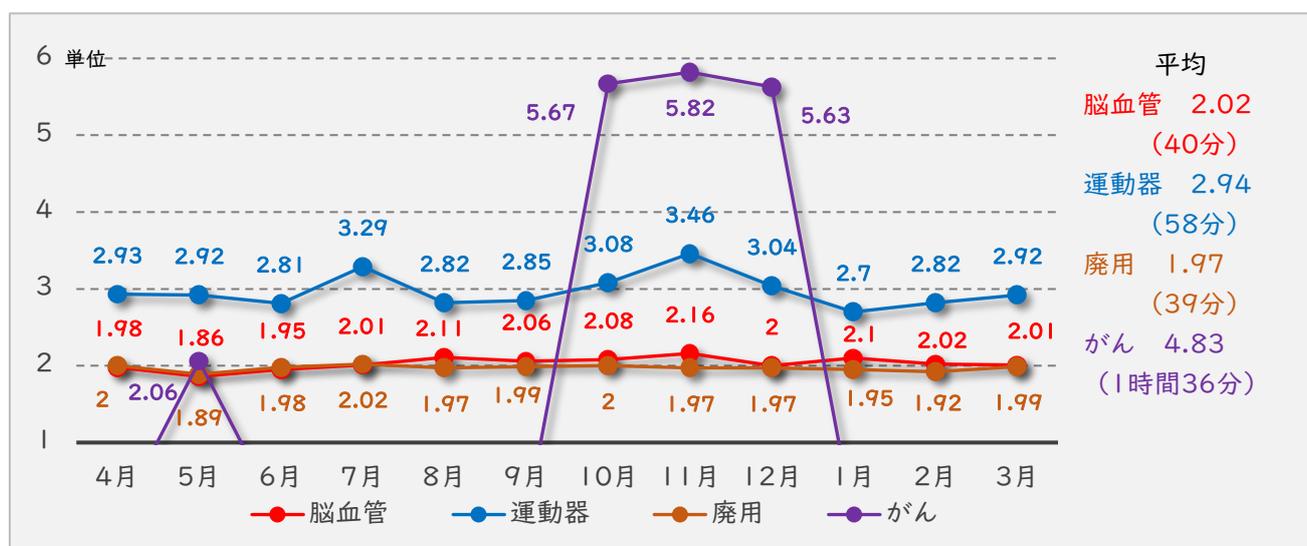
▶患者1人当たりの療法別リハビリテーションの実施単位数



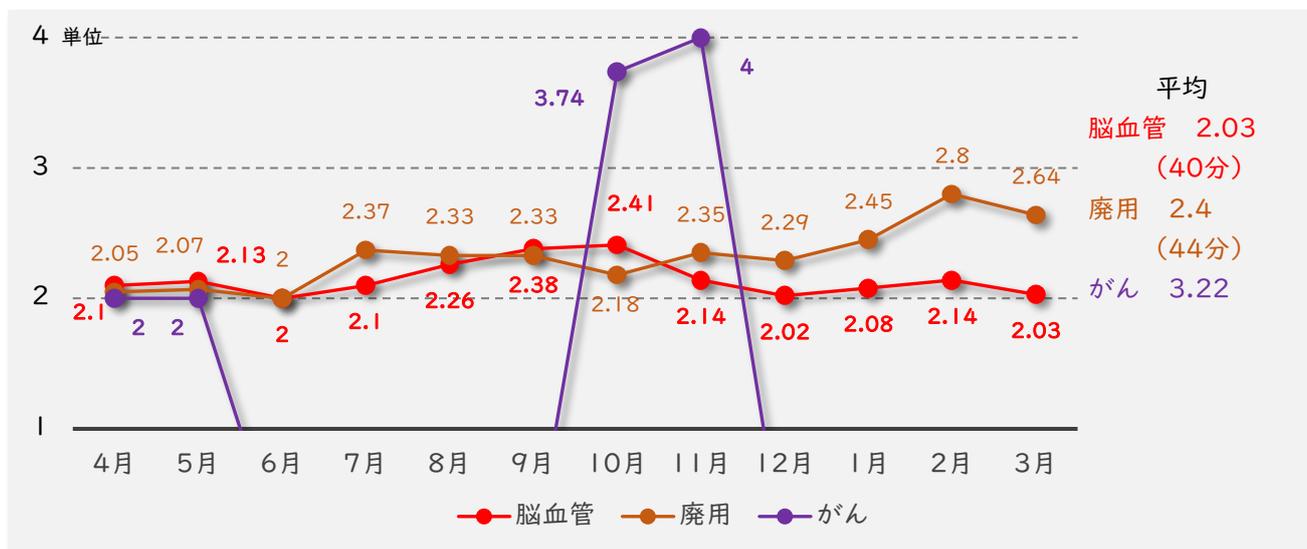
▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 理学療法部門



▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 作業療法部門



▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 言語聴覚部門



リハビリテーション効果 (Functional Independence Measure)

【FIMについて】

◎Functional Independence Measure) の略語。日常生活動作の評価法である。

◎日本語では「機能的自立度評価法」という。対象年齢は 7歳以上。

◎評価項目は、運動 (13) 項目と認知 (5) 項目、合わせて18項目ある。

◎採点方法は、1点から7点の7段階で評価する。日常生活のしている動作を評価する。

◎最低点は18点、最高点は126点。

◎評価項目は下記の通り。

《運動項目》

セルフケア：①「食事」②「整容」③「清拭」④「更衣上半身」⑤「更衣下半身」⑥「トイレ動作」

排泄コントロール：⑦「排泄管理」⑧「排便管理」

移乗：⑨「ベッド・椅子・車椅子移乗」⑩「トイレ移乗」⑪「浴槽・シャワー移乗」

移動：⑫「歩行・車椅子」⑬「階段」

《認知項目》

コミュニケーション：①「理解」②「表出」

社会的認知：③「社会交流」④「問題解決」⑤「記憶」

◎採点の目安

《運動項目》

7点 (完全自立) : 補助具、介助なしで自立して行える

6点 (修正自立) : 時間がかかる。装具、自助具、服薬が必要。安全性の配慮が必要

5点 (監視・準備) : 監視、準備、指示、促しが必要

4点 (最小介助) : 手で触れる以上の介助は必要ない「75%」以上は自分で行う

3点 (中等度介助) : 手で触れる以上の介助が必要「50%から75%未満」は自分で行う

2点 (最大介助) : 「25%から50%未満」は自分で行う

1点 (全介助) : 「25%未満」しか自分で行わない

《認知項目》

7点 (完全自立) : 複雑な事項を「自立」して一人でできる

6点 (修正自立) : 時間がかかる。投薬している。安全性の配慮が必要

5点 (監視・準備) : 監視、準備、指示、促しが必要。簡単な事項に介助が10%未満必要

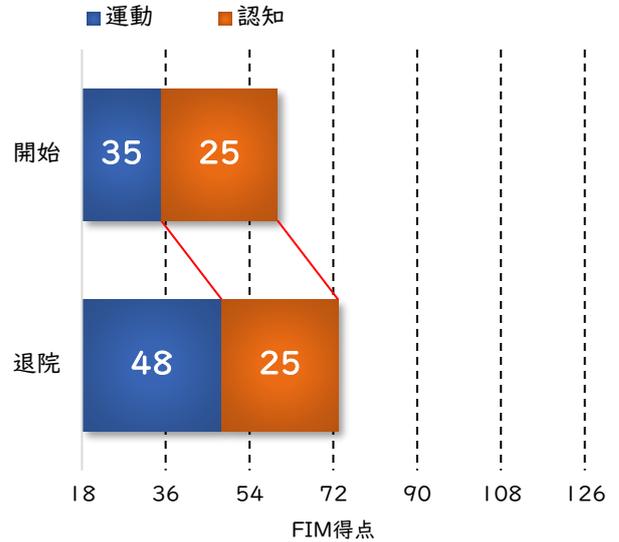
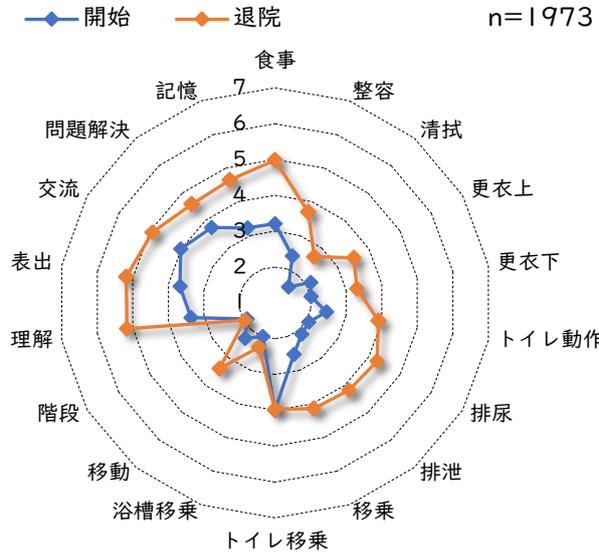
4点 (最小介助) : 「75%から90%未満」は自分で行う

3点 (中等度介助) : 「50%から75%未満」は自分で行う

2点 (最大介助) : 「25%から50%未満」は自分で行う

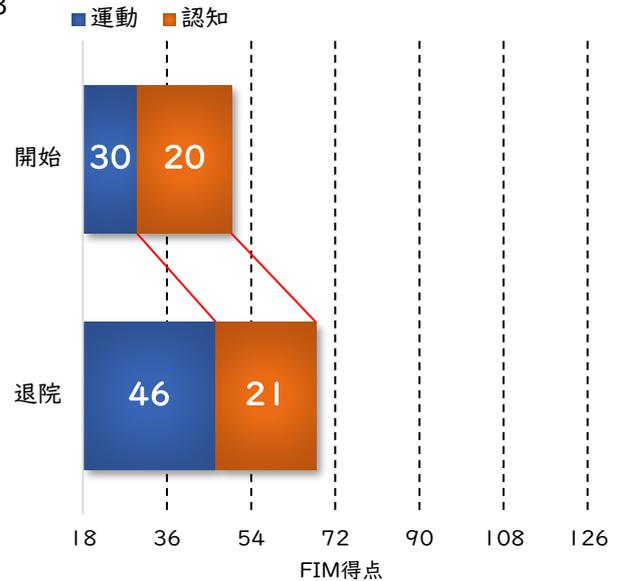
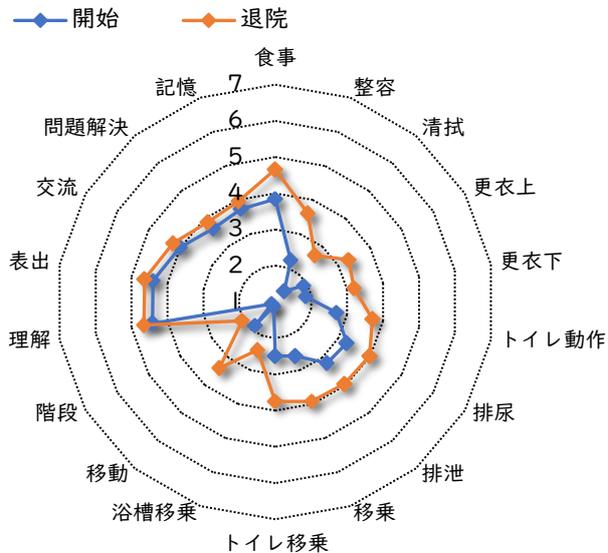
1点 (全介助) : 「25%未満」しか自分で行わない

▶FIM項目別変化とFIM利得

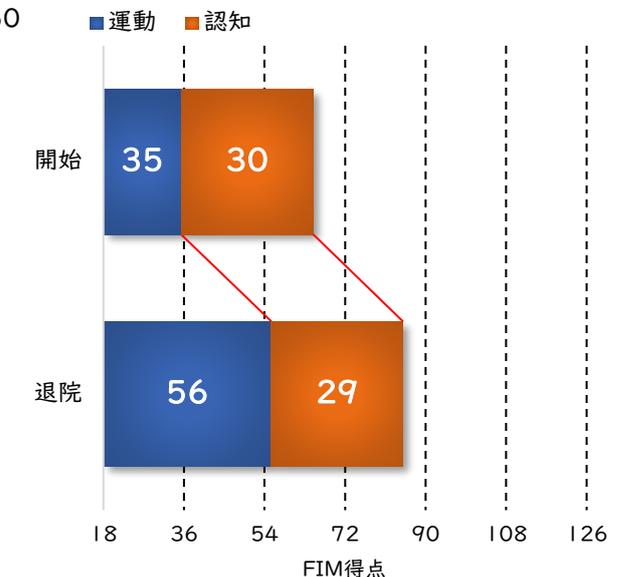
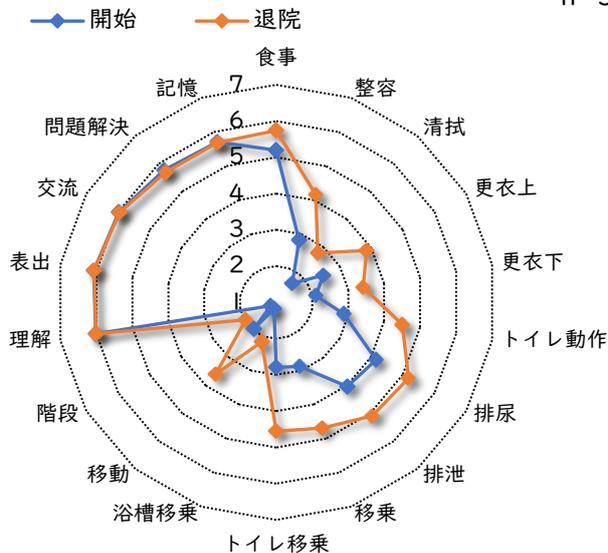


▶疾患別リハビリから見たFIM項目別変化とFIM利得

脳血管疾患等リハビリテーション n=443

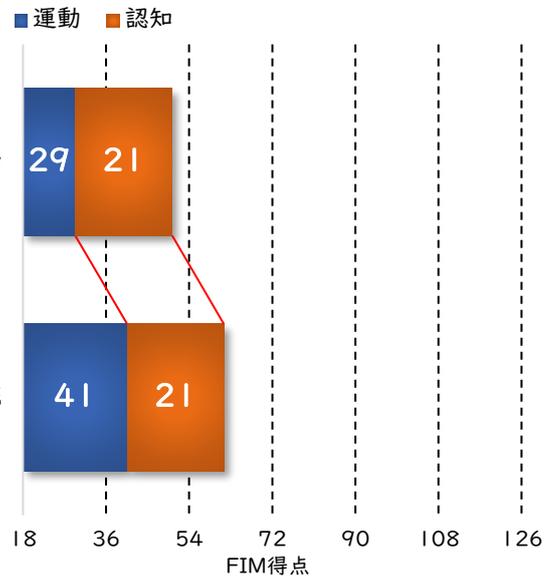
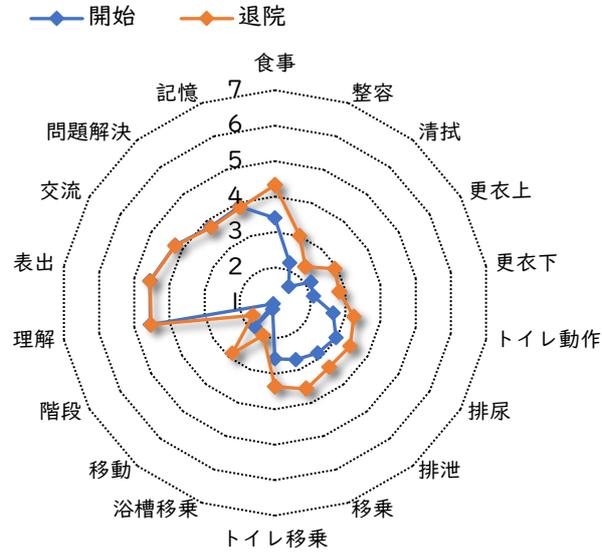


運動器リハビリテーション n=560



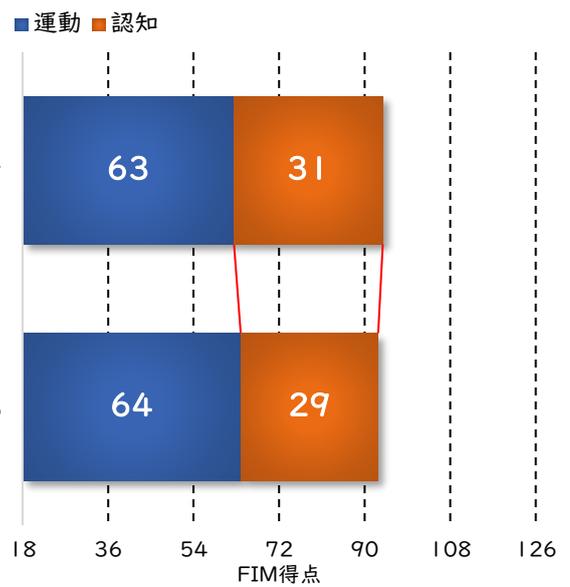
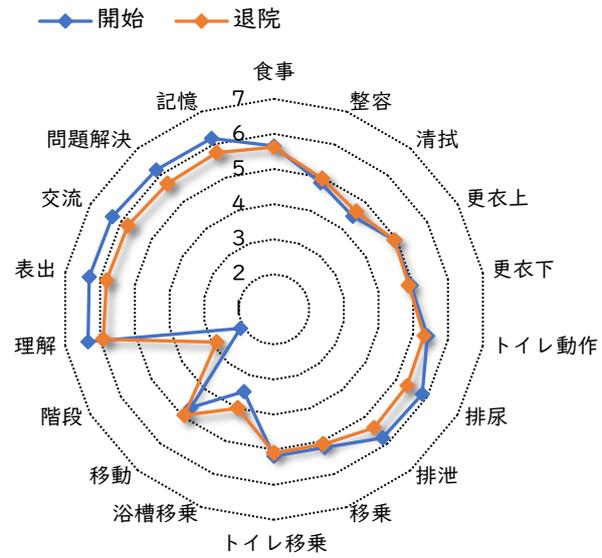
廃用症候群リハビリテーション

n=743



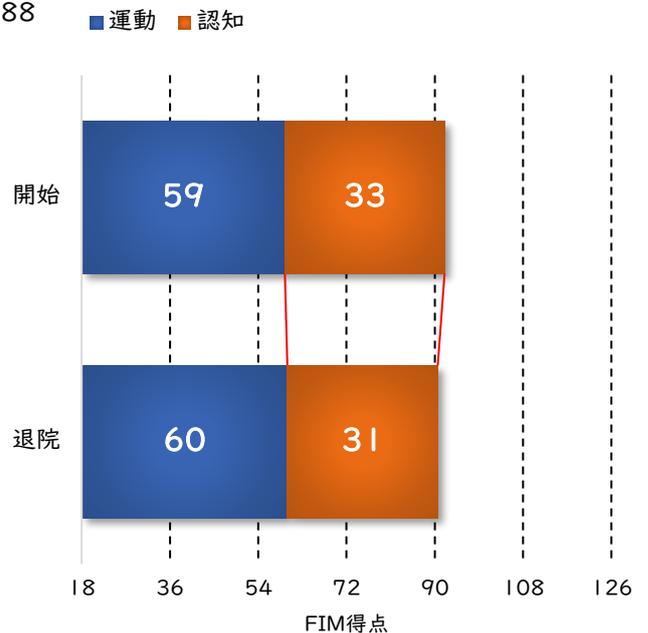
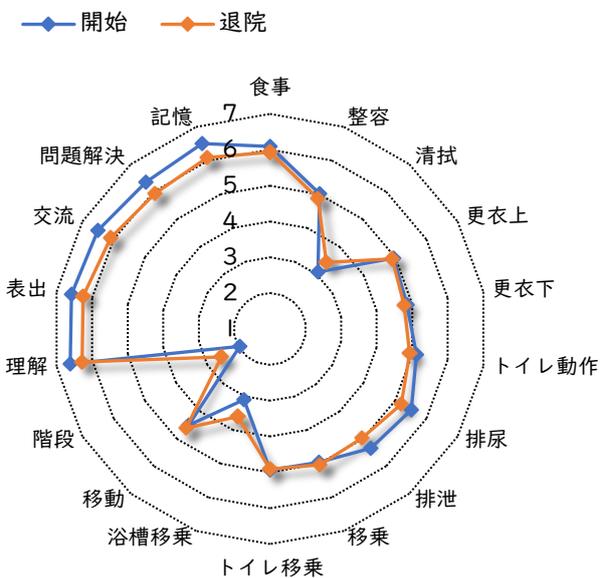
呼吸器リハビリテーション

n=32



がん患者リハビリテーション

n=188



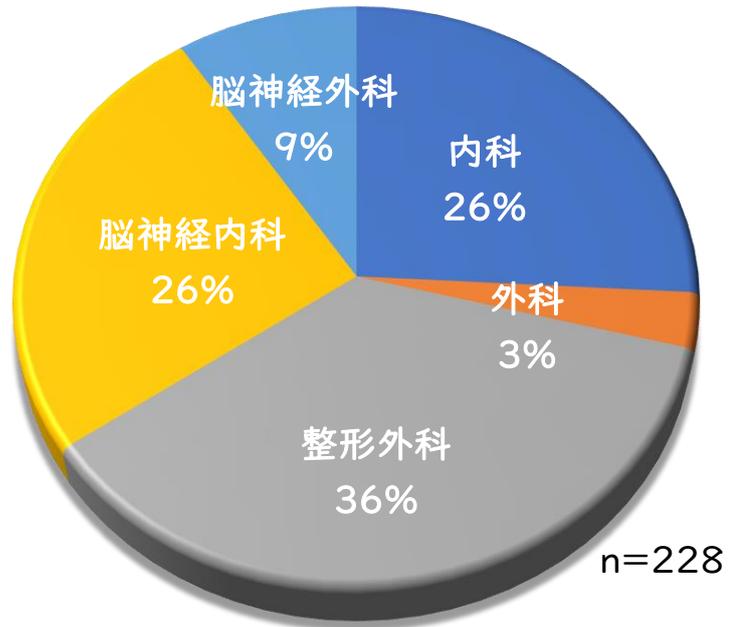
回復期リハビリテーション病棟

リハビリテーション実施患者

回復期リハビリテーション病棟 5南

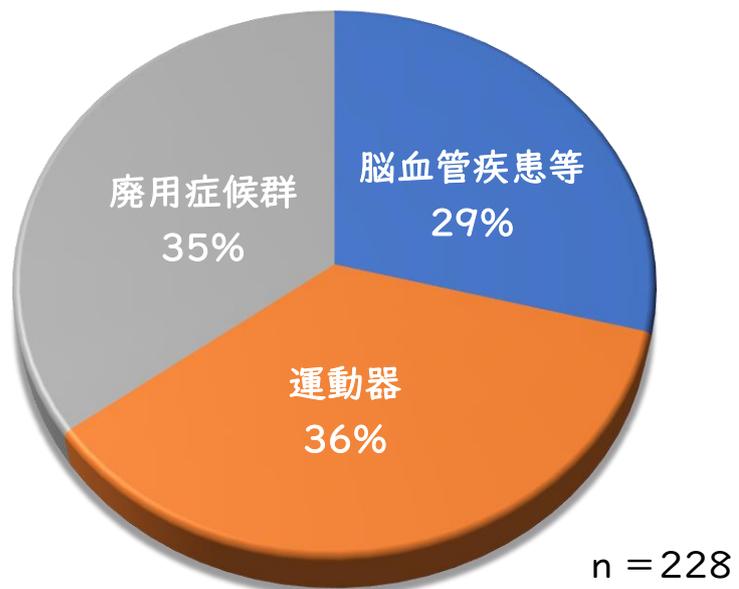
▶ 診療科別割合

内 科	59件
整 形 外 科	83件
脳神経内科	58件
脳神経外科	21件
外 科	7件

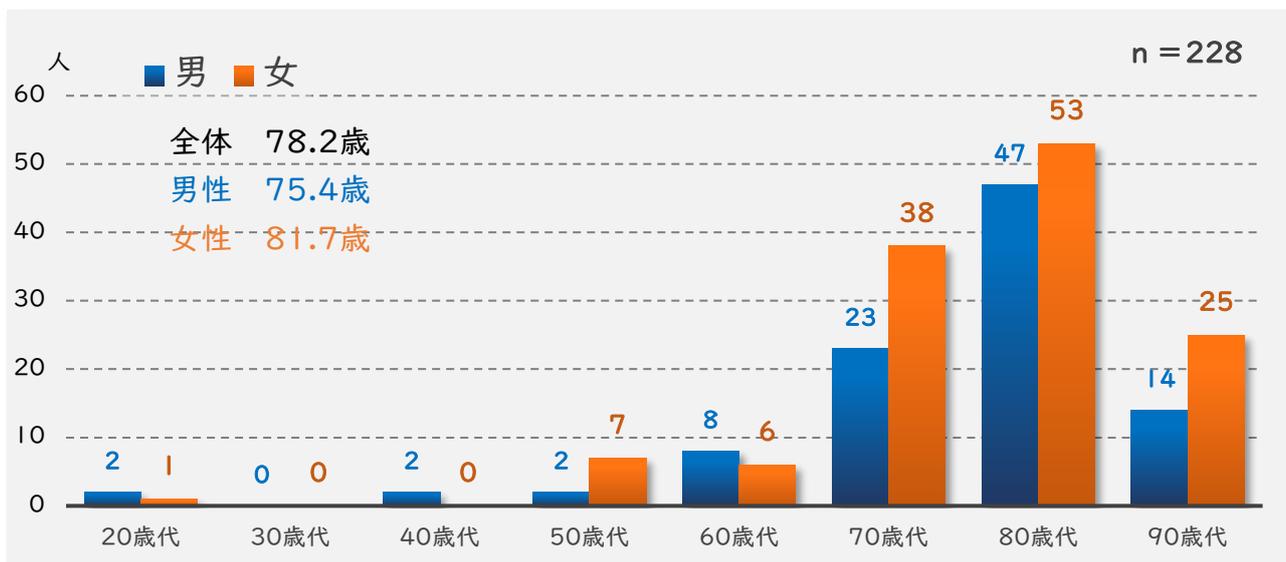


▶ 疾患別リハビリテーション割合

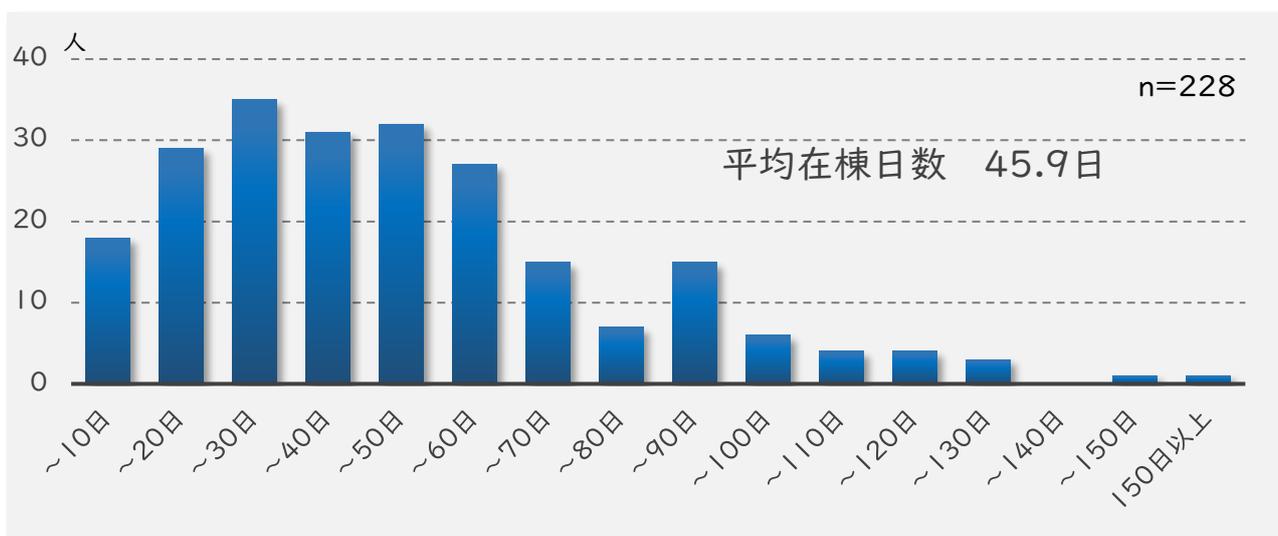
脳血管疾患等	66件
運 動 器	82件
廃用症候群	80件



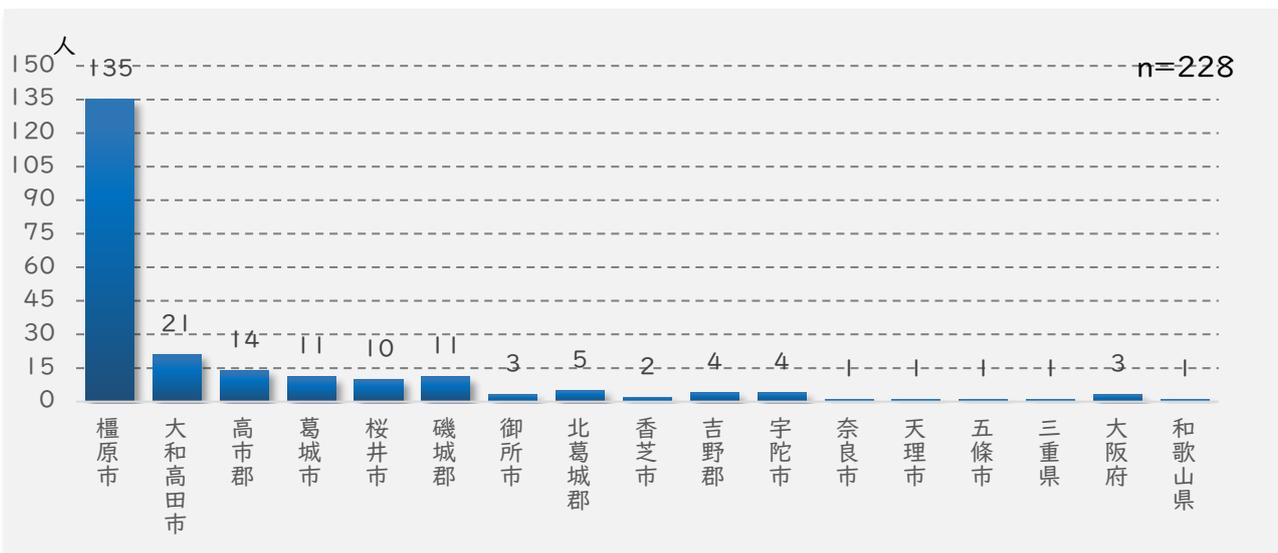
▶ 年齢・性別構成



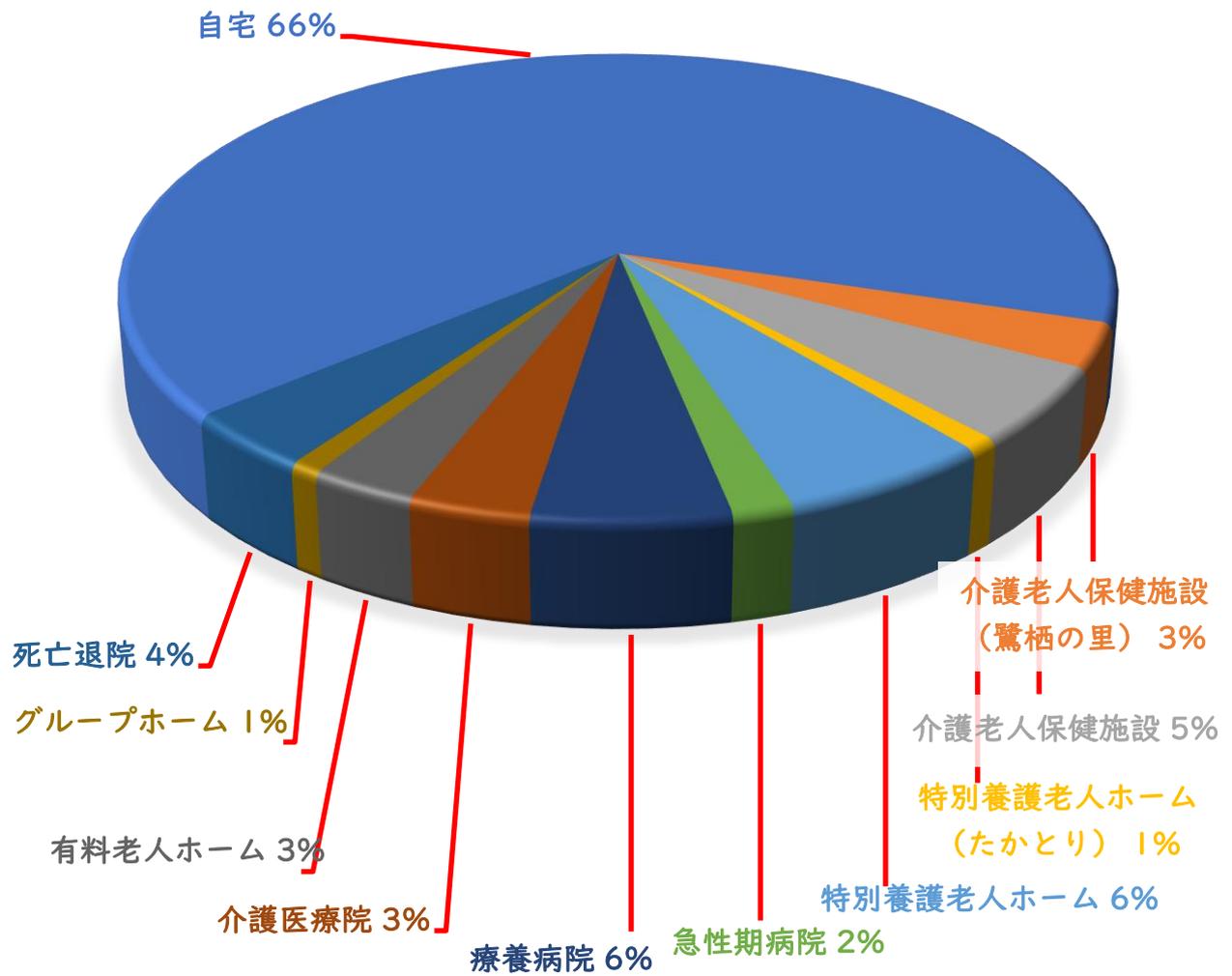
▶ 在棟日数



▶ 患者住所



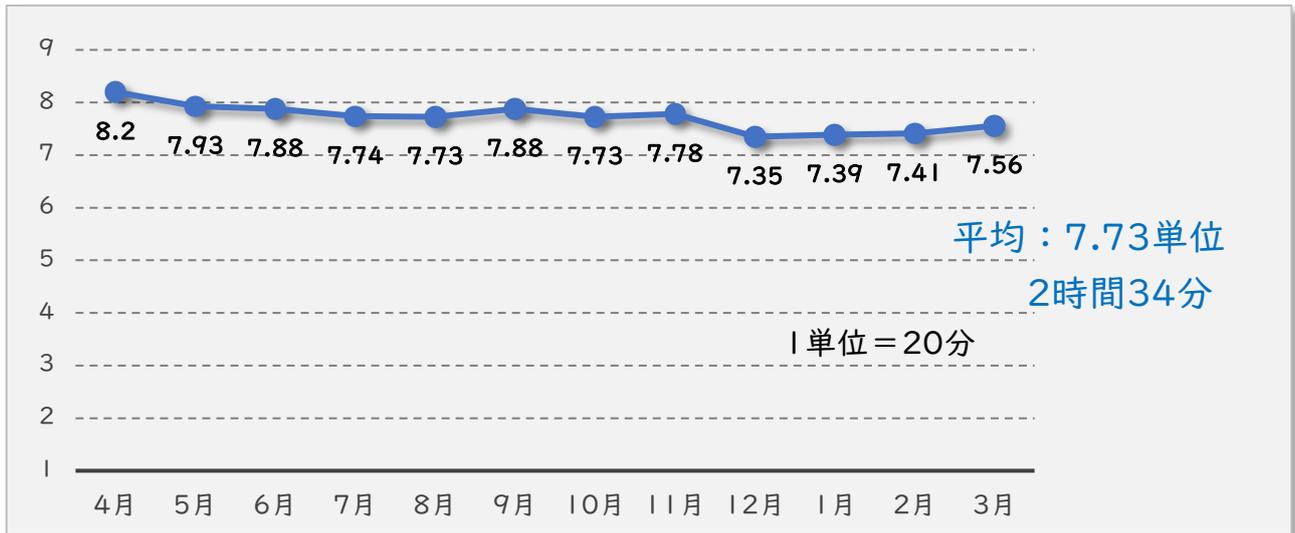
▶退棟先



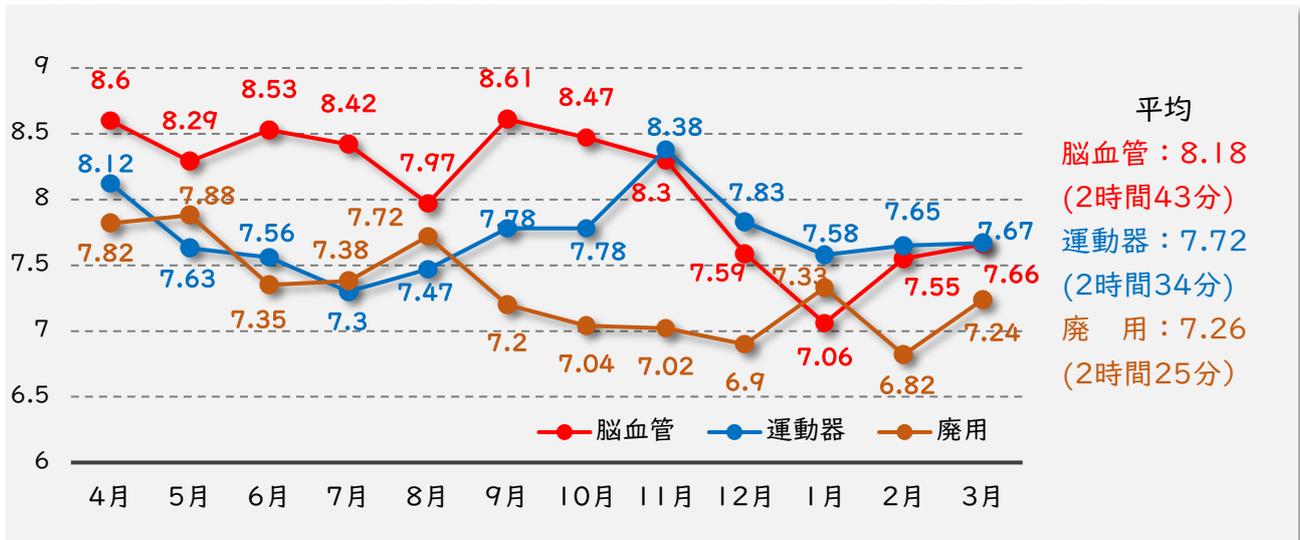
退院先	人数	退院先	人数
自宅	150	療養病院	13
介護老人保健施設 (鷺栖の里)	7	介護医療院	8
介護老人保健施設	12	有料老人ホーム	7
特別養護老人ホーム (たかとり)	2	グループホーム	2
特別養護老人ホーム	14	死亡退院	9
急性期病院	4		

リハビリテーション実施単位数

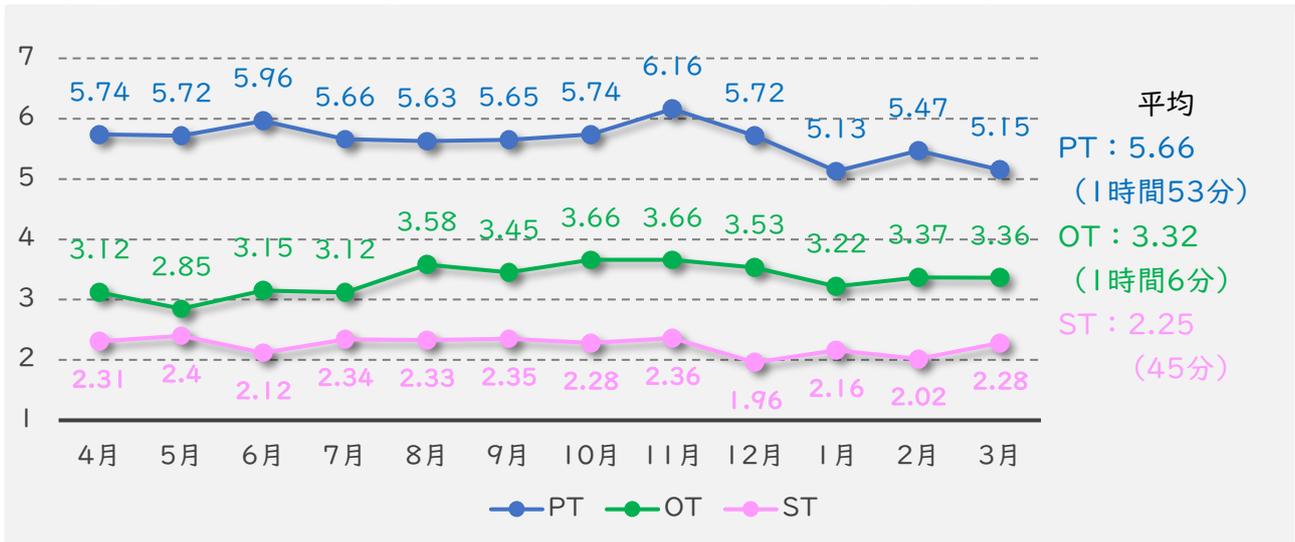
▶患者1人当たりのリハビリテーション実施単位数



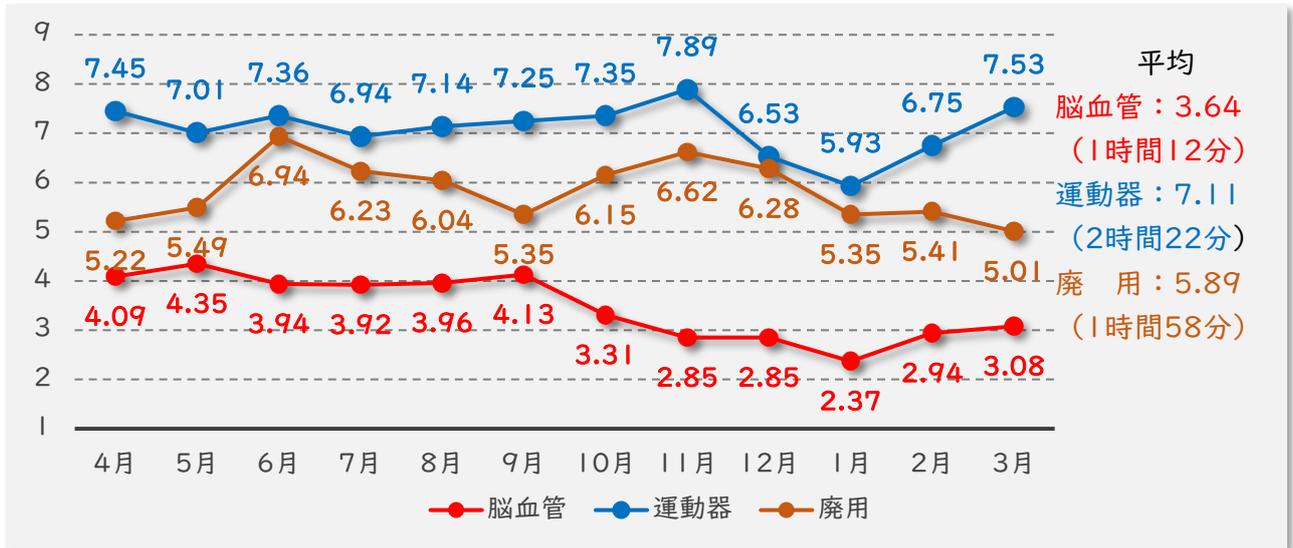
▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数



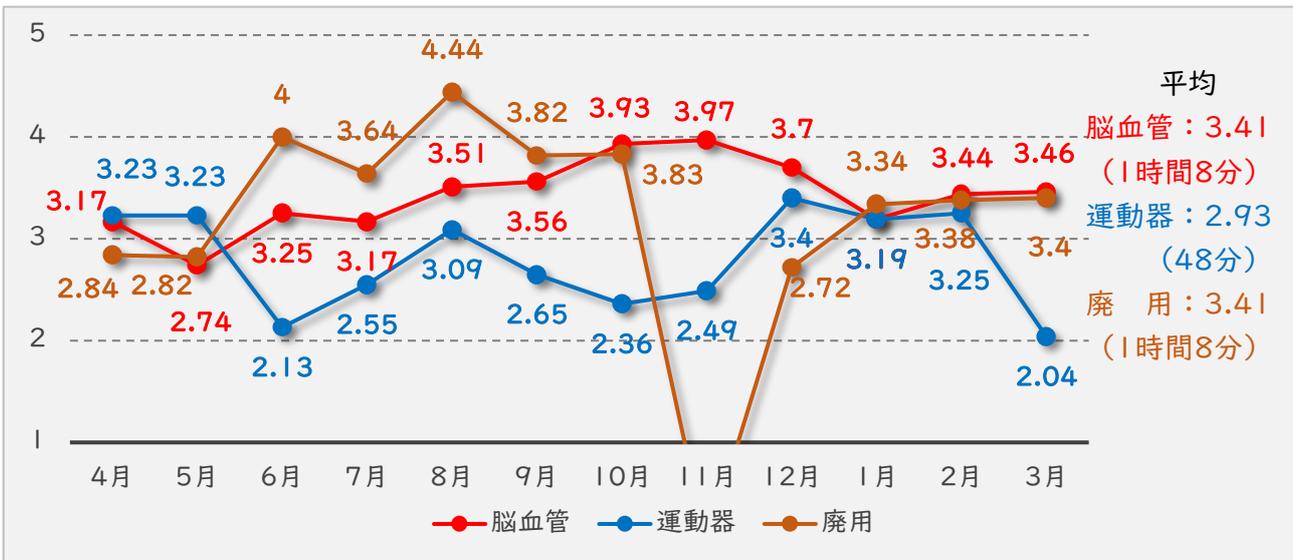
▶患者1人当たりの療法別リハビリテーション実施単位数



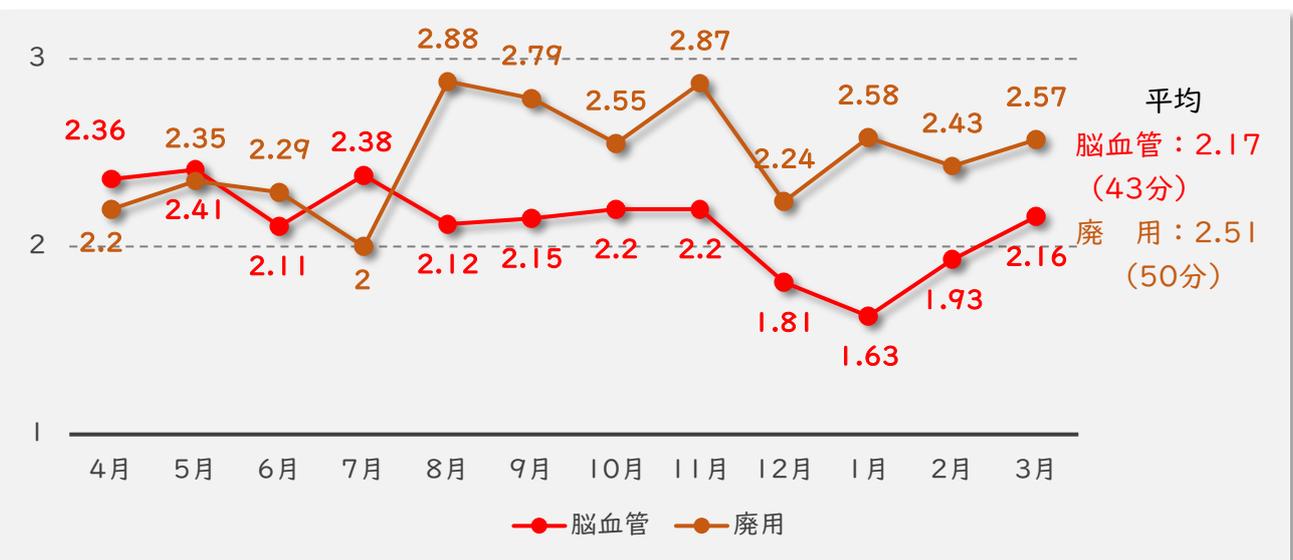
▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 理学療法部門



▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 作業療法部門

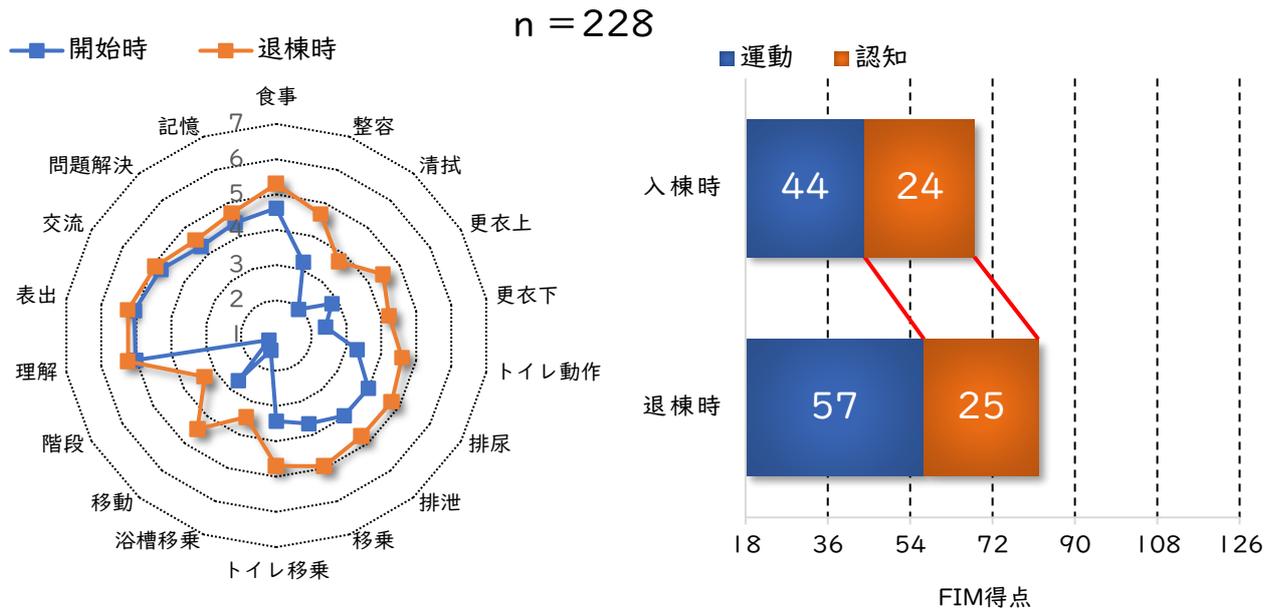


▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 言語聴覚部門



リハビリテーション効果

▶FIM項目別変化とFIM利得



▶リハビリテーション実施指数

【リハビリテーション実施指数とは、FIM得点の改善点を、
患者の入棟時の状態、在院日数を踏まえて指数化したもの】
当院が取得している「回復期リハビリテーション入院料I」では、
厚生労働省の定めにより、「平均40以上」が要件となっている。

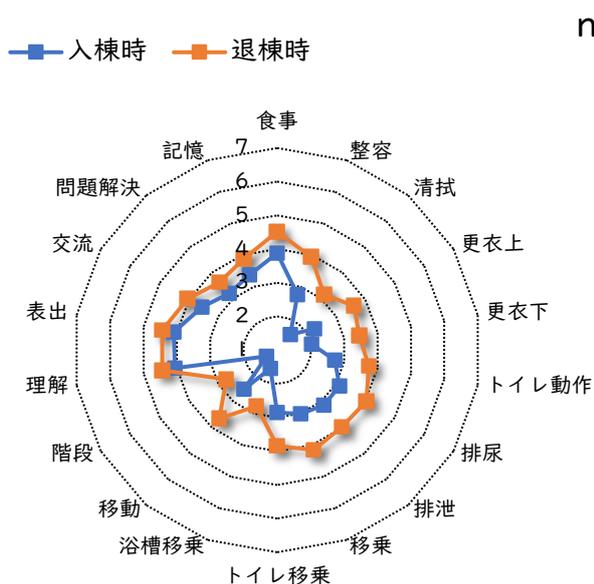


リハビリテーション実施指数算定方法

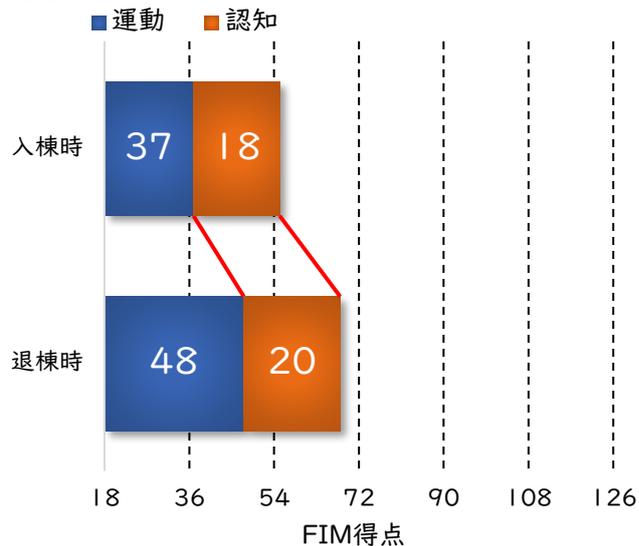
$$\text{実施指数} = \frac{\sum (\text{退棟時のFIM運動項目の得点} - \text{入棟時のFIM運動項目})}{\sum (\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数})}$$

▶疾患別リハビリから見たFIM項目別変化とFIM利得

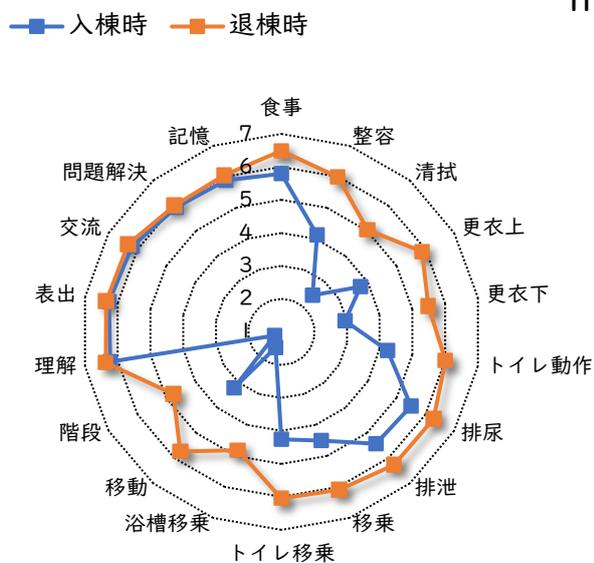
脳血管疾患等リハビリテーション



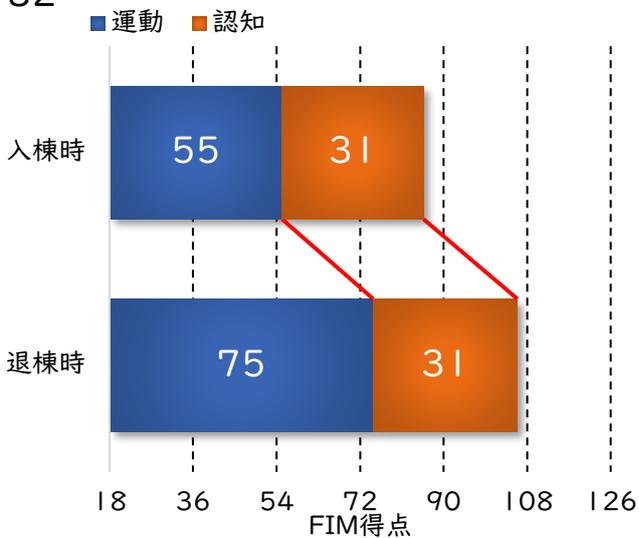
n = 80



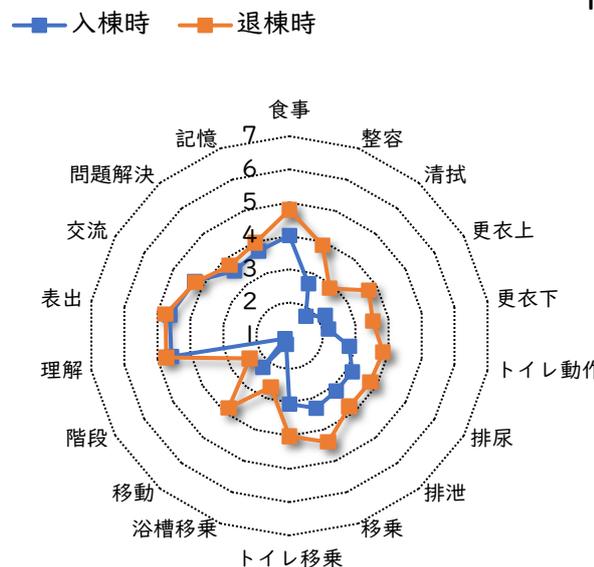
運動器リハビリテーション



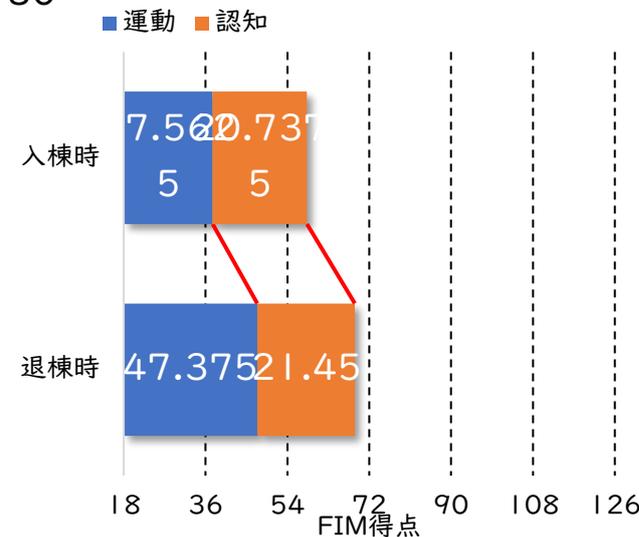
n = 82



廃用症候群リハビリテーション



n=80

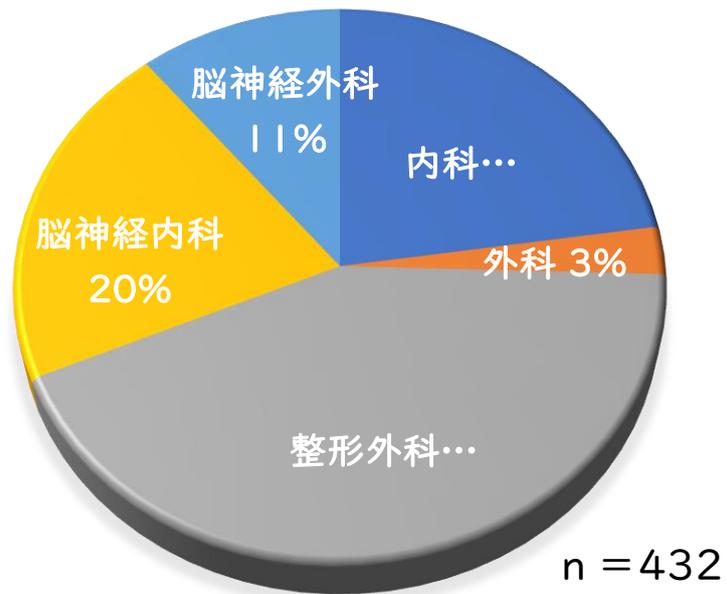


リハビリテーション実施患者

回復期リハビリテーション病棟 6・7南

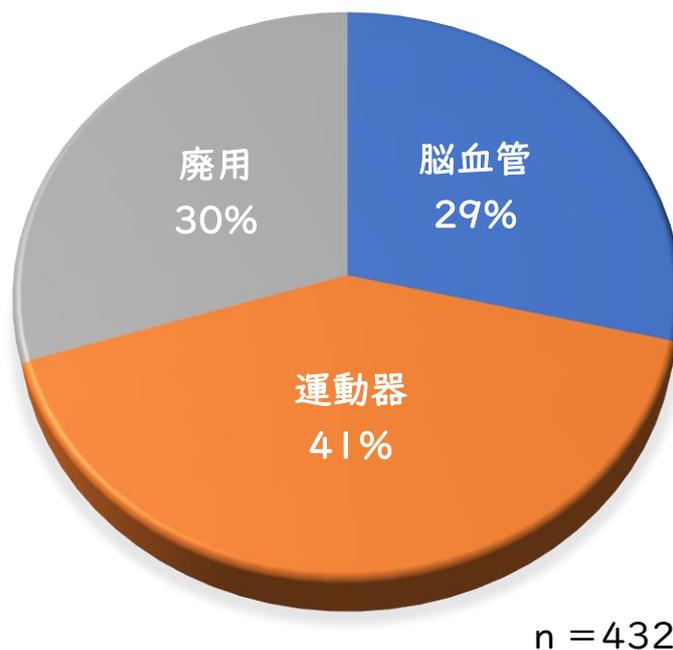
▶診療科別割合

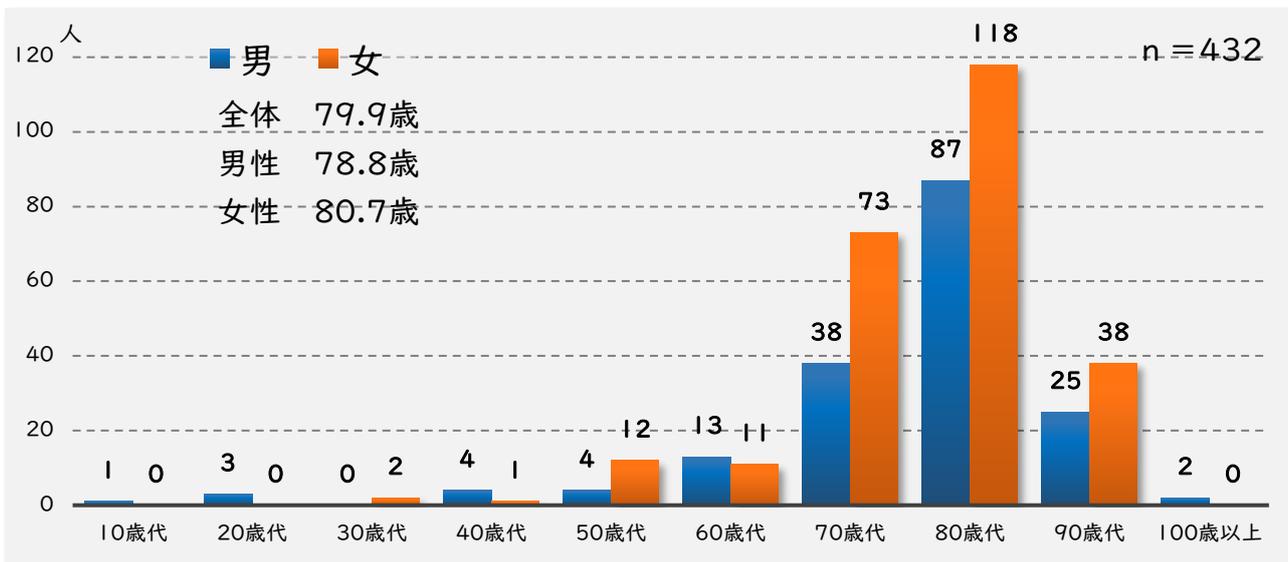
内 科	98件
整形外科	186件
脳神経内科	89件
脳神経外科	47件
外 科	12件



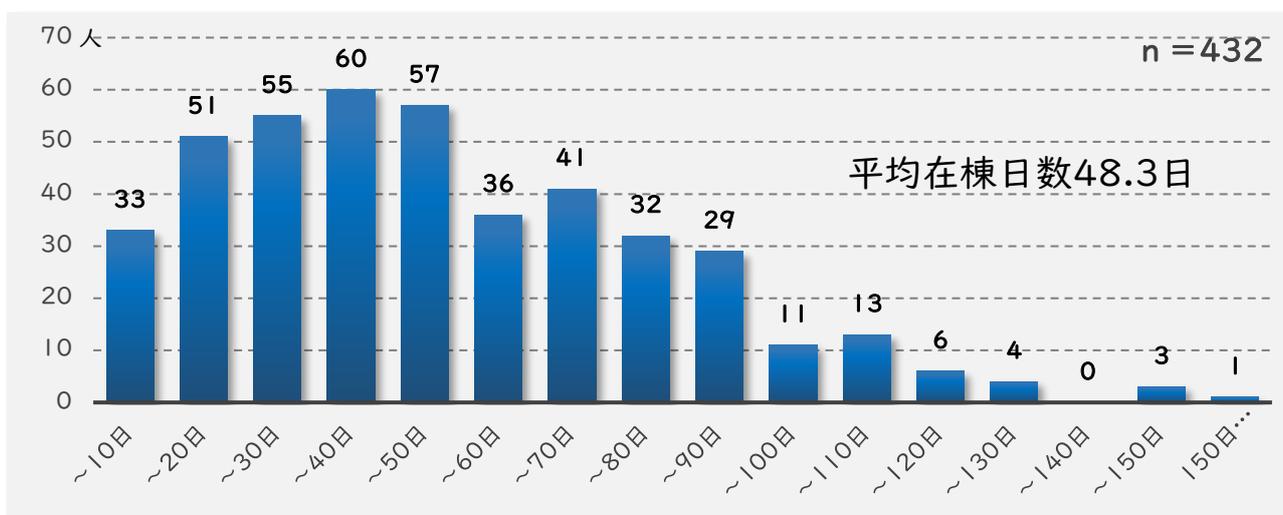
▶疾患別リハビリテーション割合

脳血管疾患等	124件
運動器	129件
廃用症候群	179件

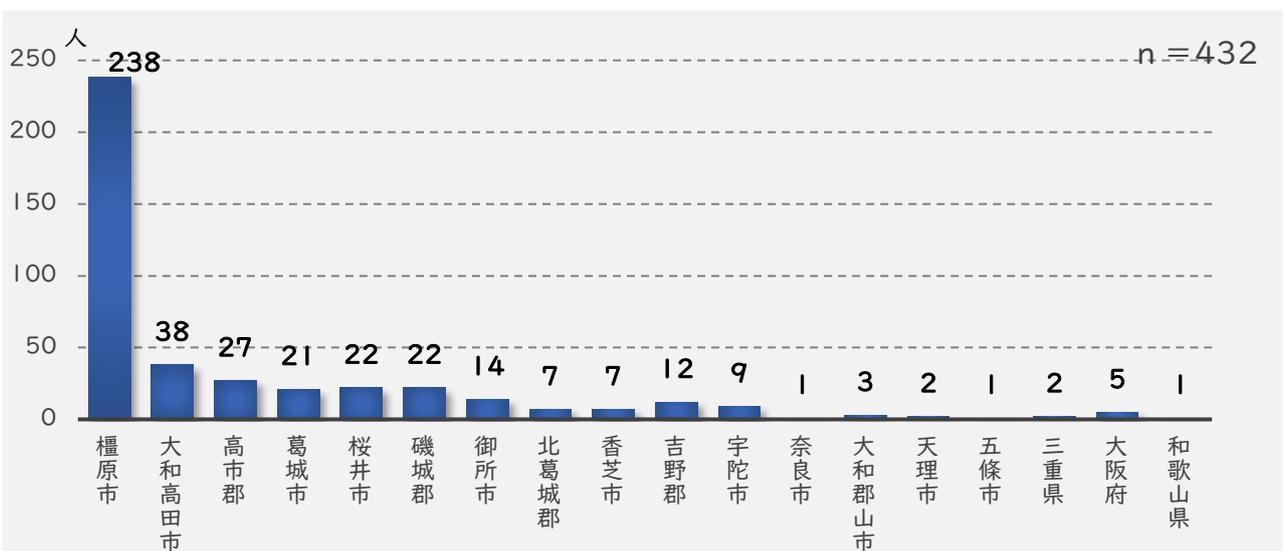




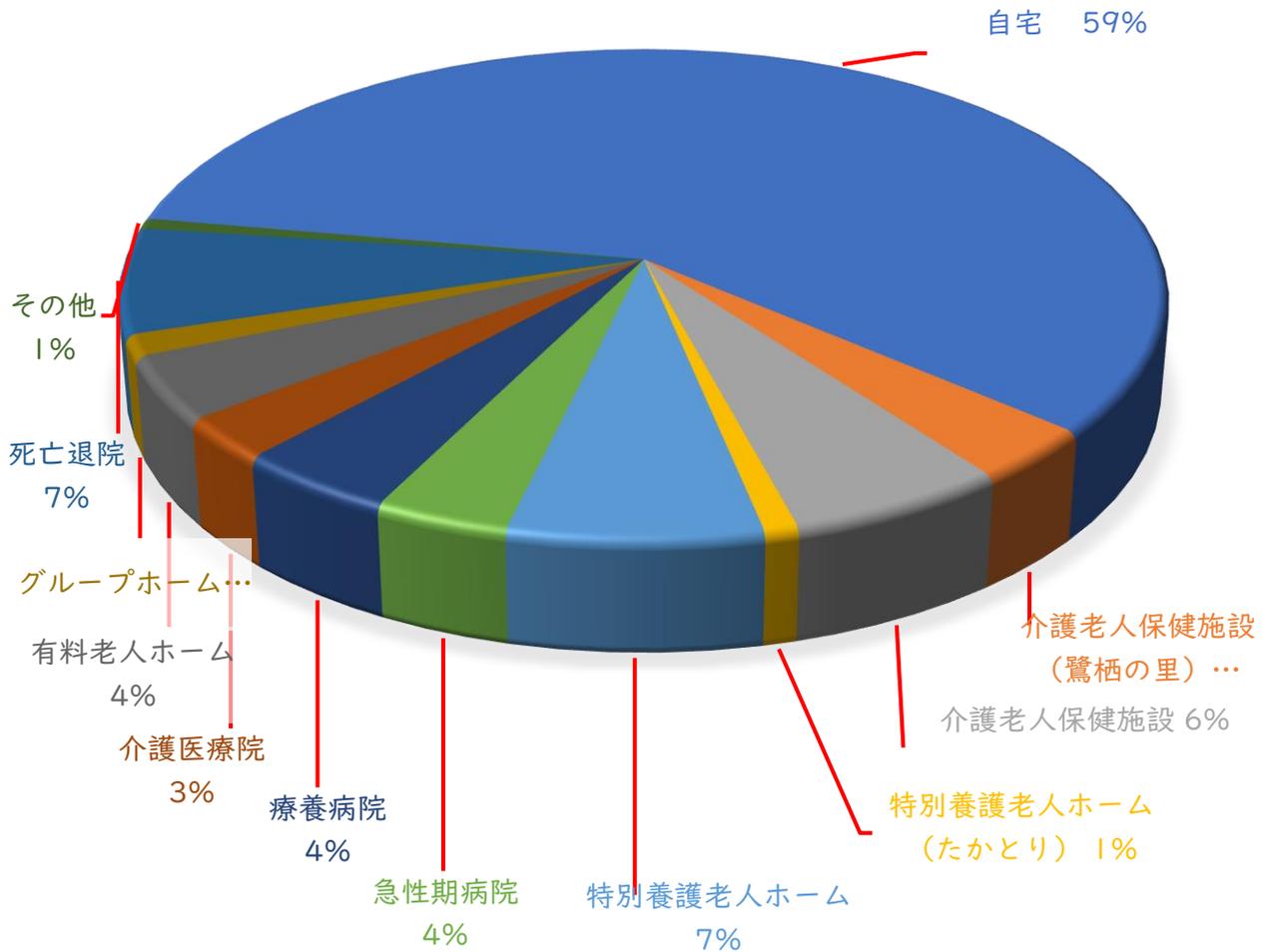
▶ 在院日数



▶ 患者住所



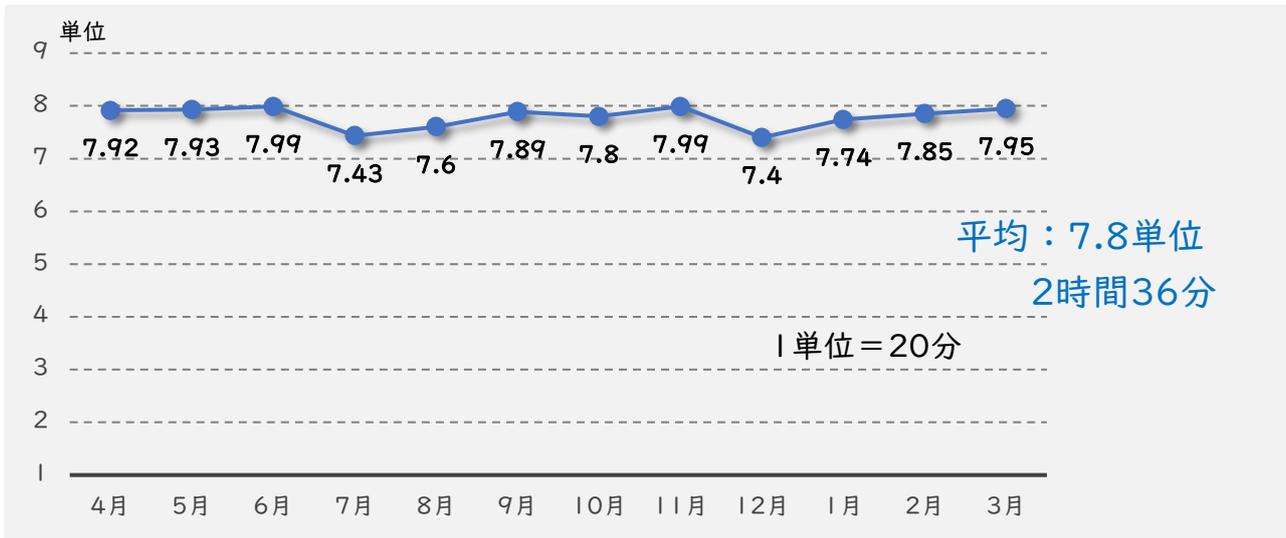
▶退棟先



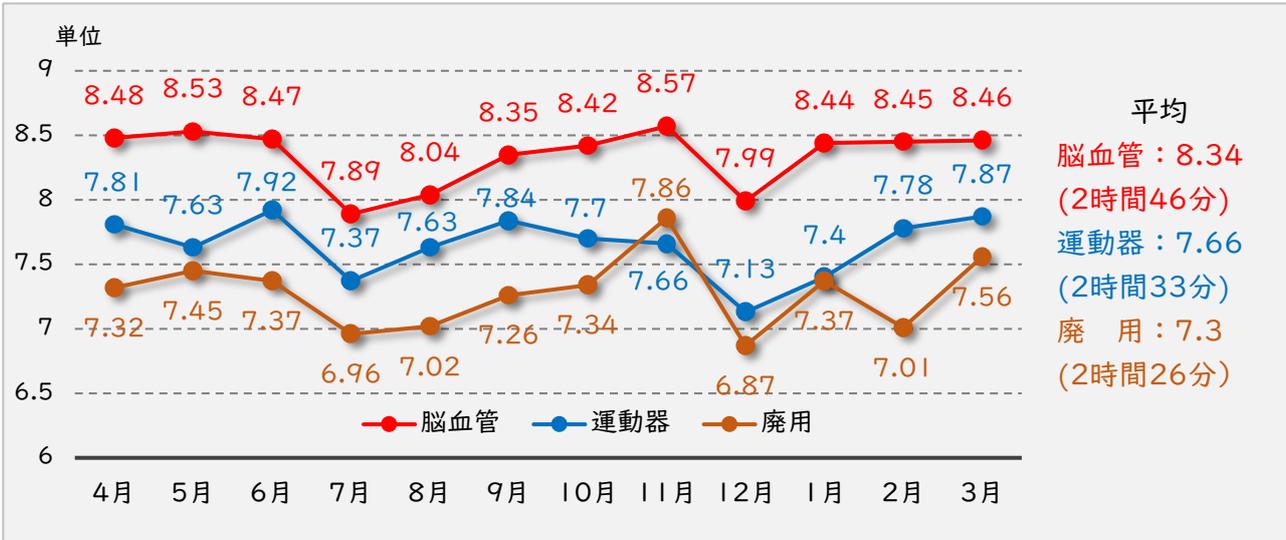
退院先	人数	退院先	人数
自宅	253	療養病院	19
介護老人保健施設 (鷺栖の里)	15	介護医療院	12
介護老人保健施設	26	有料老人ホーム	18
特別養護老人ホーム (たかとり)	4	グループホーム	6
特別養護老人ホーム	30	死亡退院	30
急性期病院	16	その他	3

リハビリテーション実施単位数

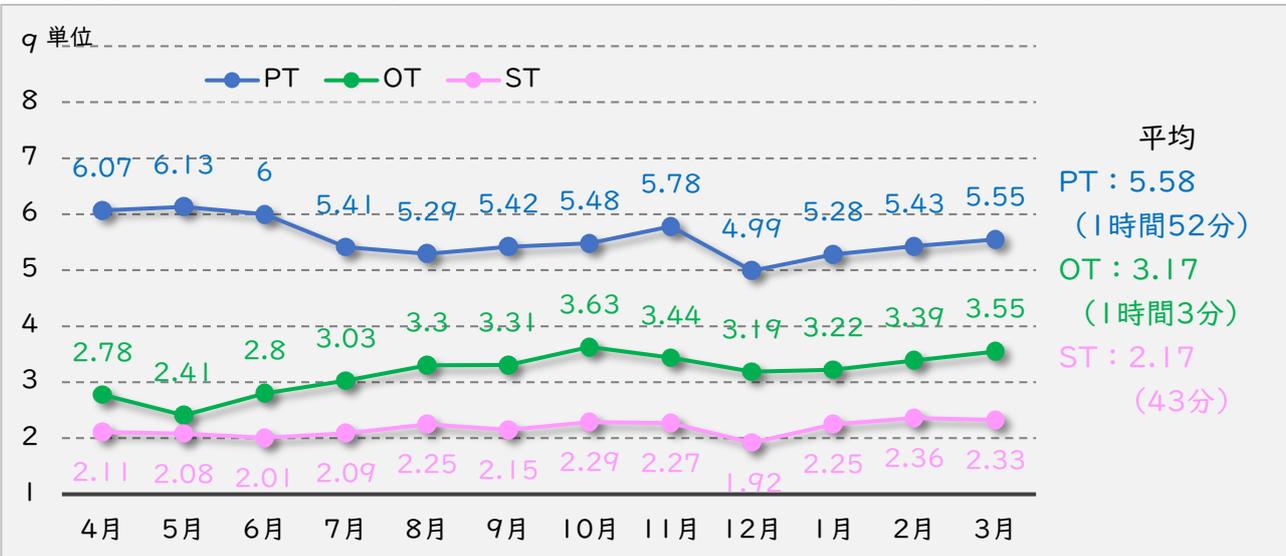
▶患者1人当たりのリハビリテーション実施単位数



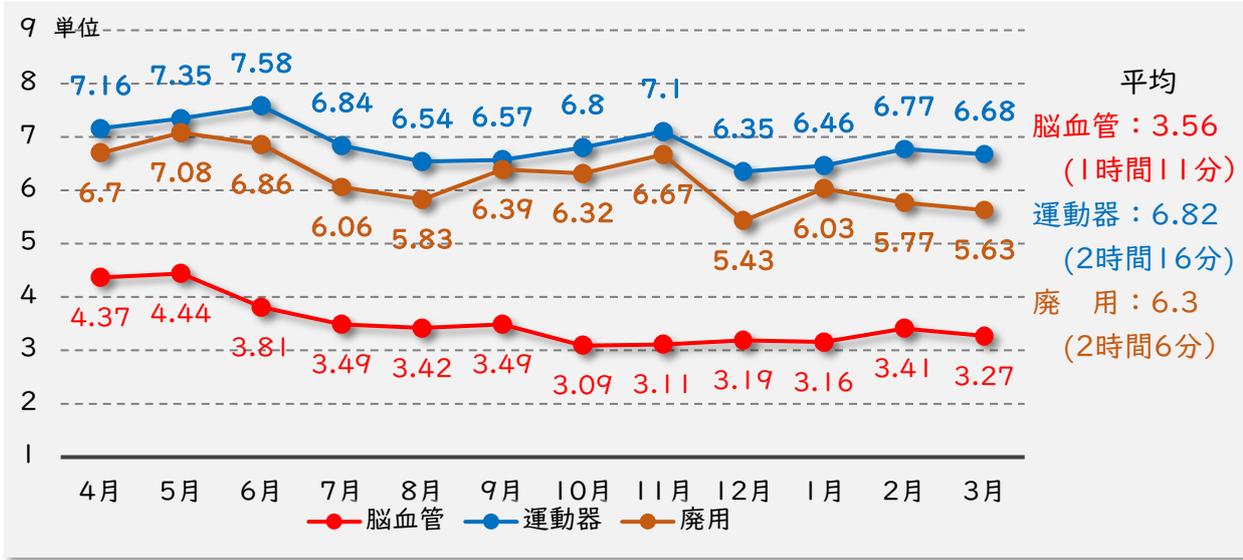
▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数



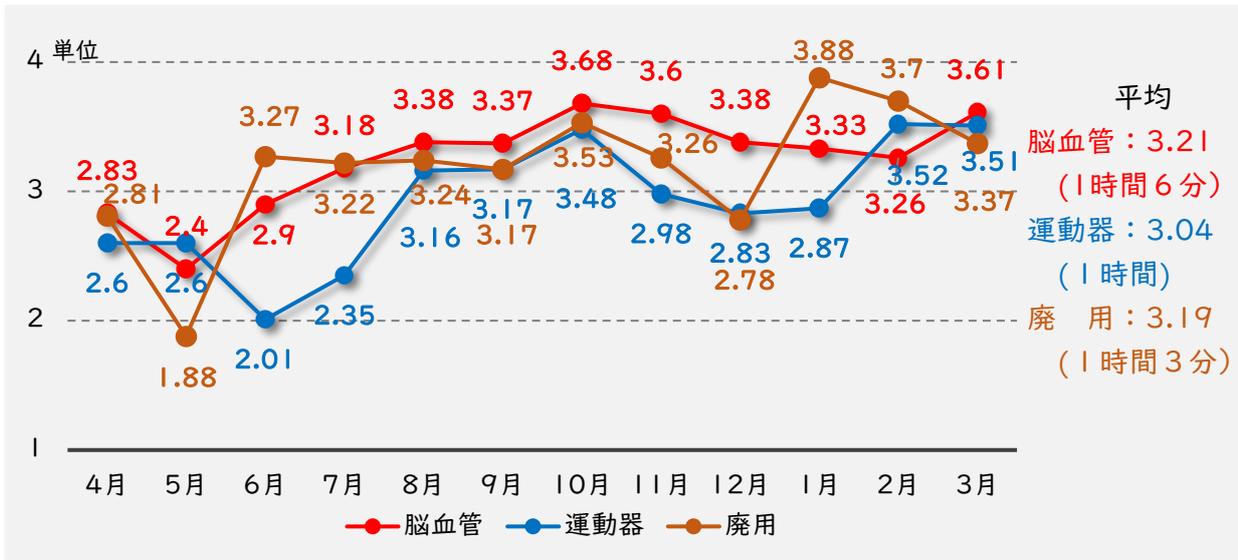
▶患者1人当たりの療法別リハビリテーション実施単位



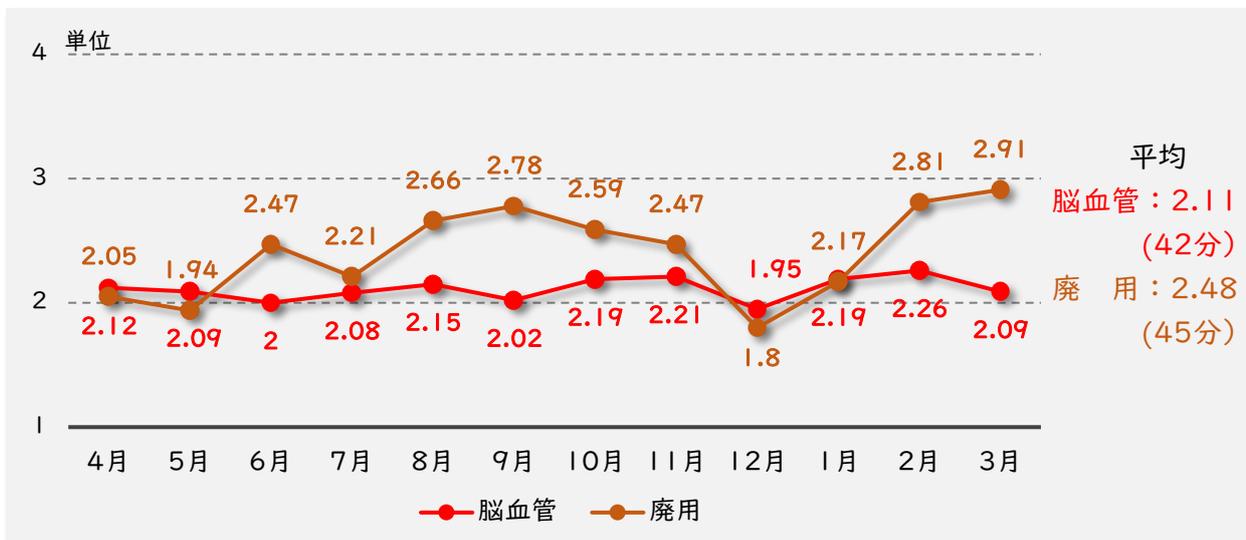
▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 理学療法部門



▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 作業療法部門

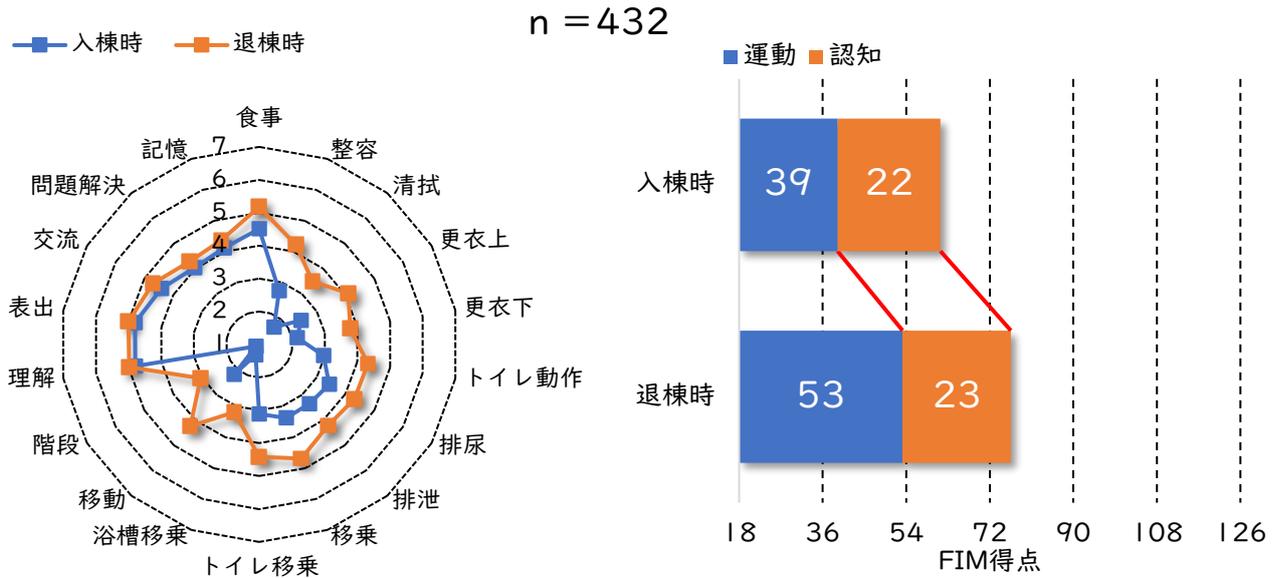


▶患者1人当たりの疾患別リハビリテーション実施単位数 言語聴覚部門



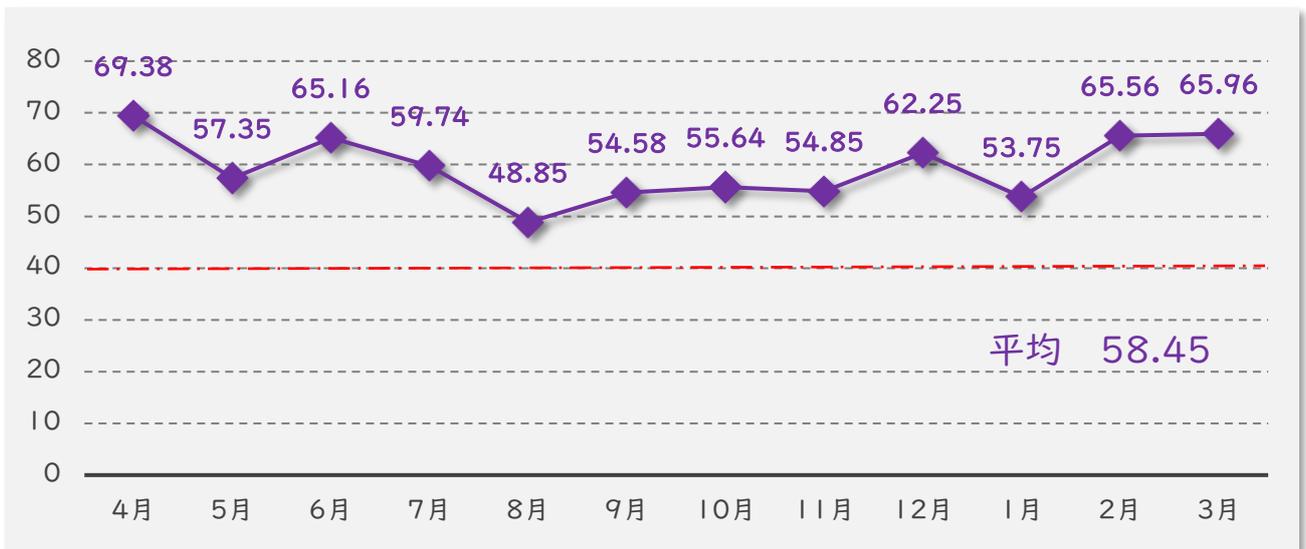
リハビリテーション効果

▶ FIM項目変化とFIM利得



▶ リハビリテーション実施指数

【リハビリテーション実施指数とは、FIM得点の改善点を、
患者の入棟時の状態、在院日数を踏まえて指数化したもの】
当院が取得している「回復期リハビリテーション入院料I」では、
厚生労働省の定めにより、「平均40以上」が要件となっている。



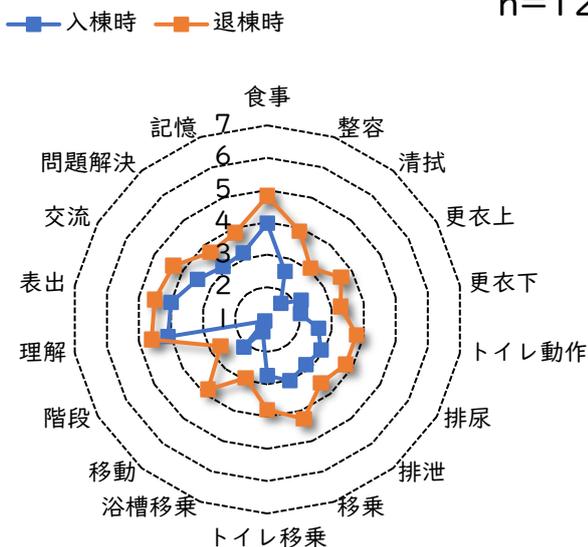
リハビリテーション実施指数算定方法

$$\text{実施指数} = \frac{\sum (\text{退棟時のFIM運動項目の得点} - \text{入棟時のFIM運動項目})}{\sum (\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数})}$$

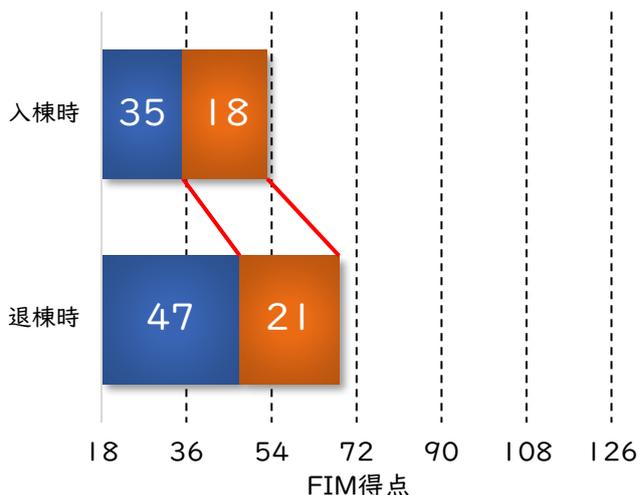
▶疾患別リハビリから見たFIM項目別変化とFIM利得

脳血管疾患等リハビリテーション

n=124

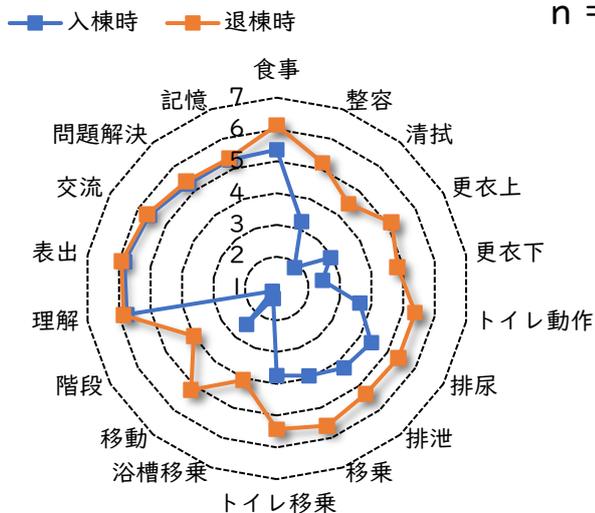


■ 運動 ■ 認知

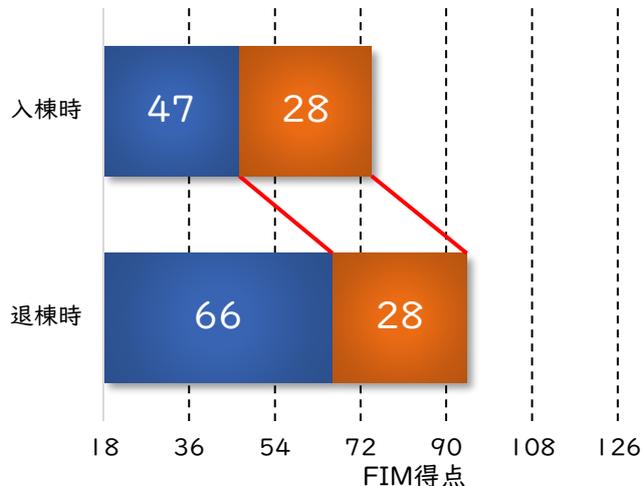


運動器リハビリテーション

n = 179

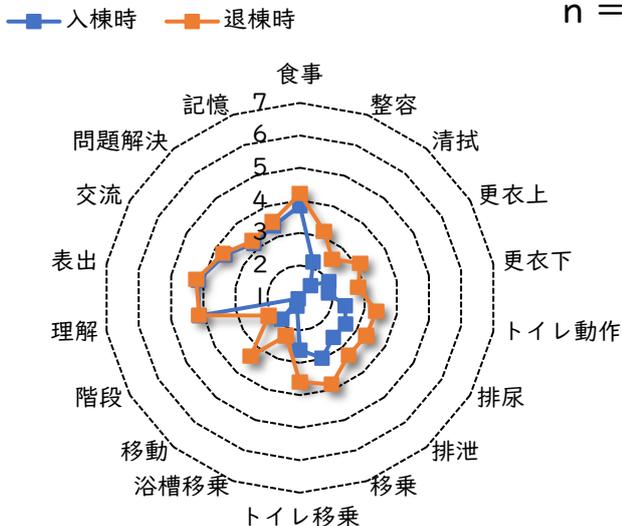


■ 運動 ■ 認知

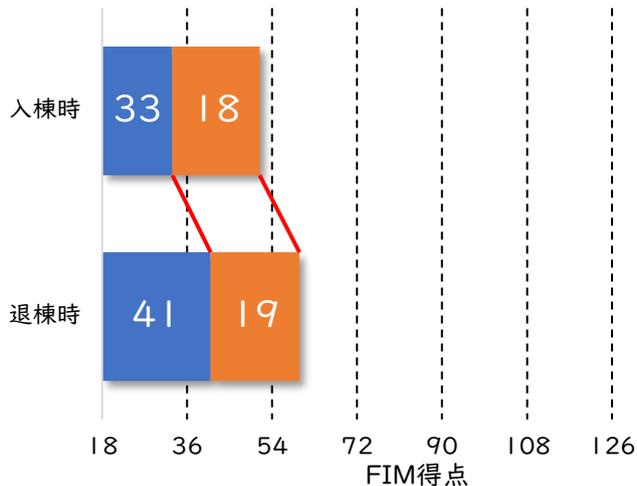


廃用症候群リハビリテーション

n = 129



■ 運動 ■ 認知

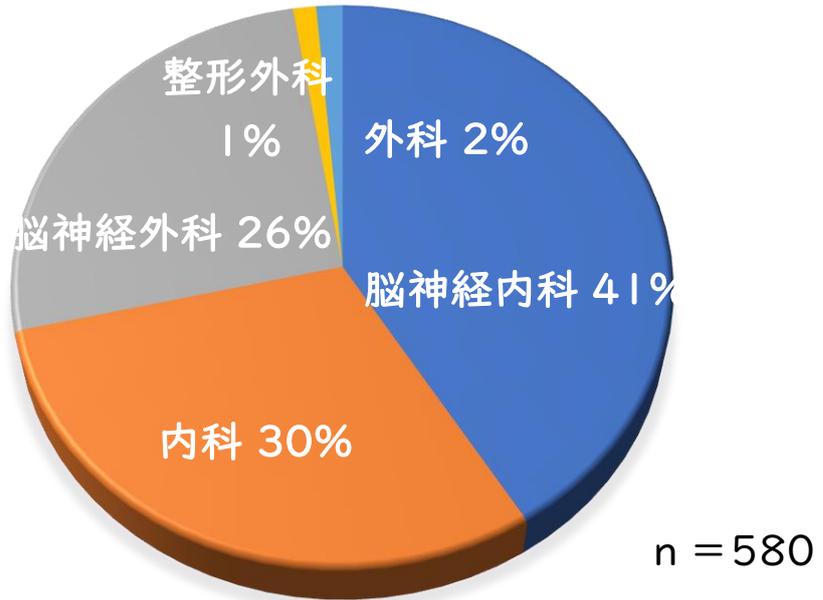


嚥下リハビリテーション (摂食機能療法)

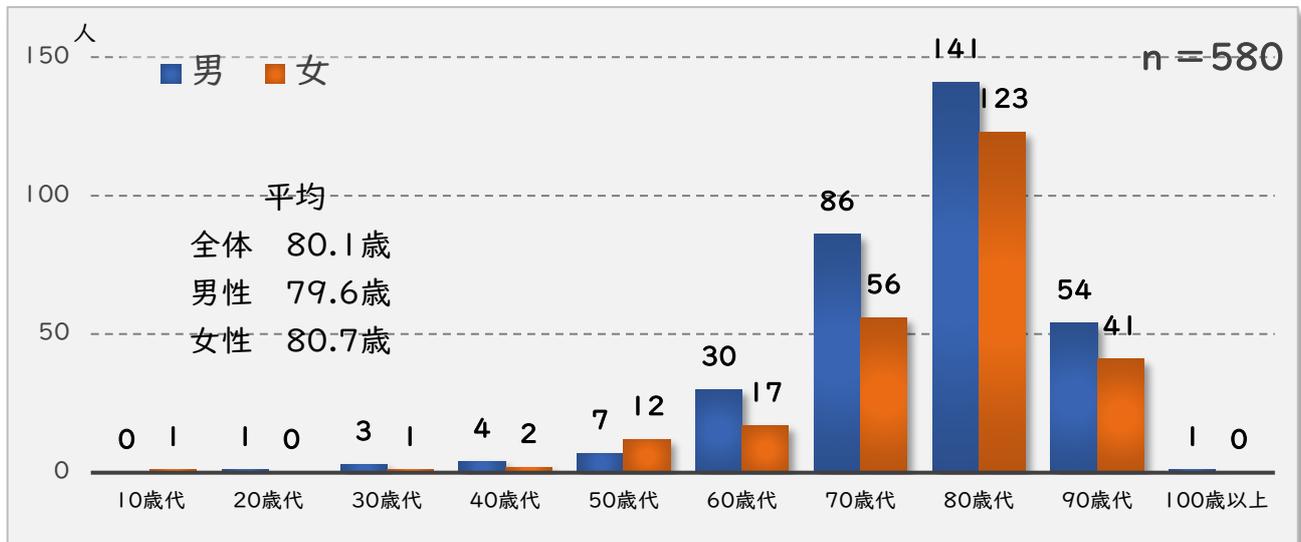
嚥下リハビリ（摂食機能療法）実施者

▶ 診療科別割合

脳神経内科	239件
脳神経外科	151件
内科	175件
整形外科	7件
外科	8件



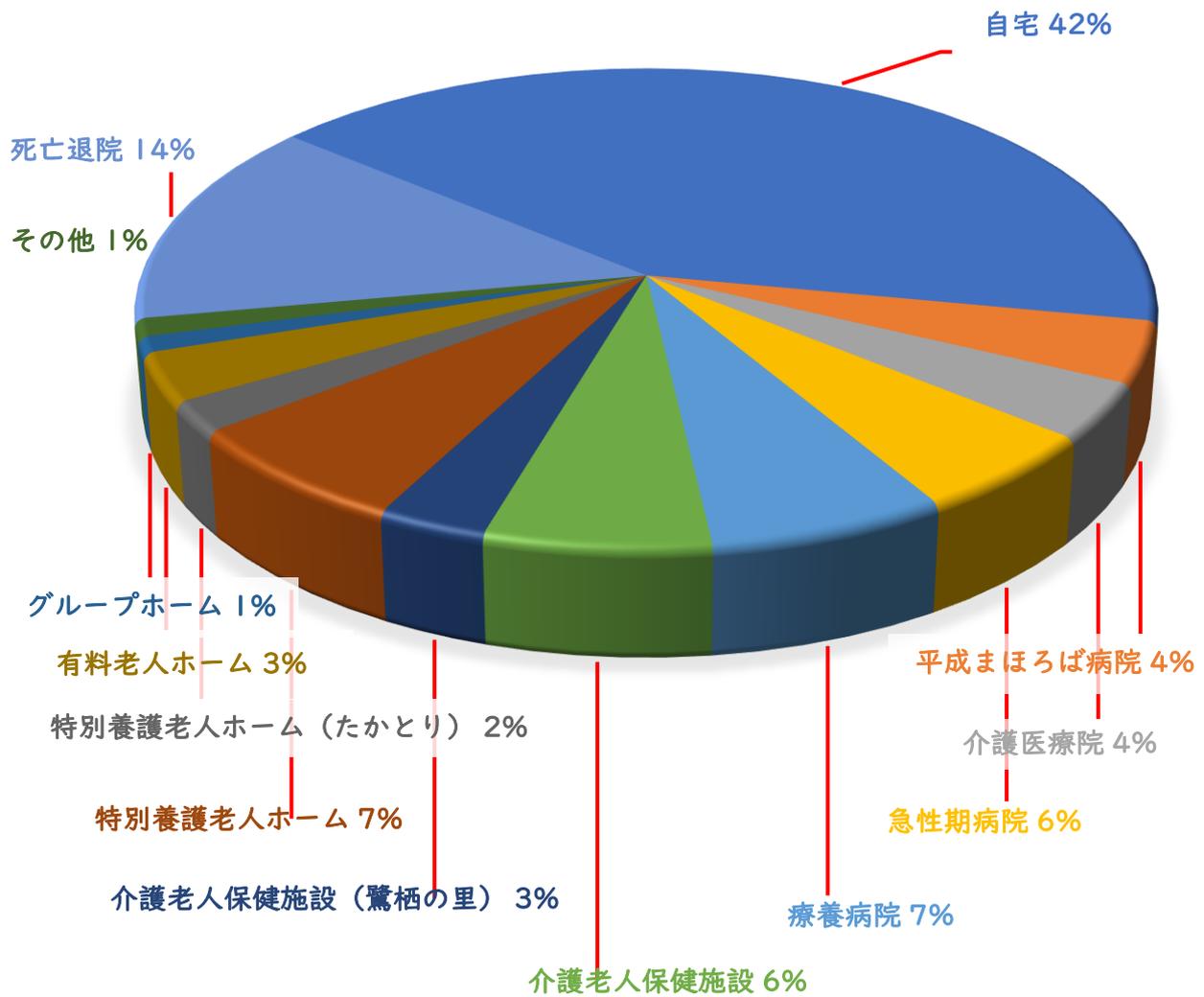
▶ 年齢性別構成



▶ 実施期間

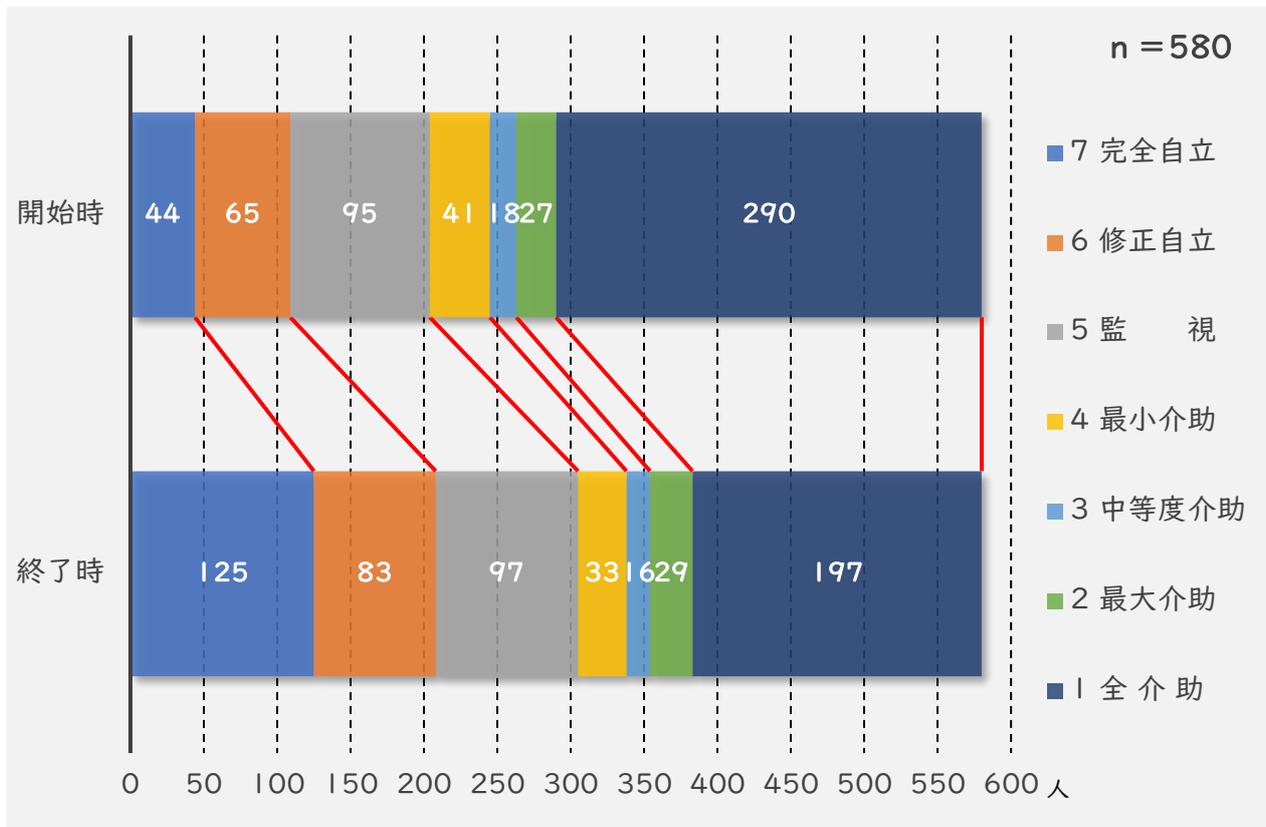


▶退院先

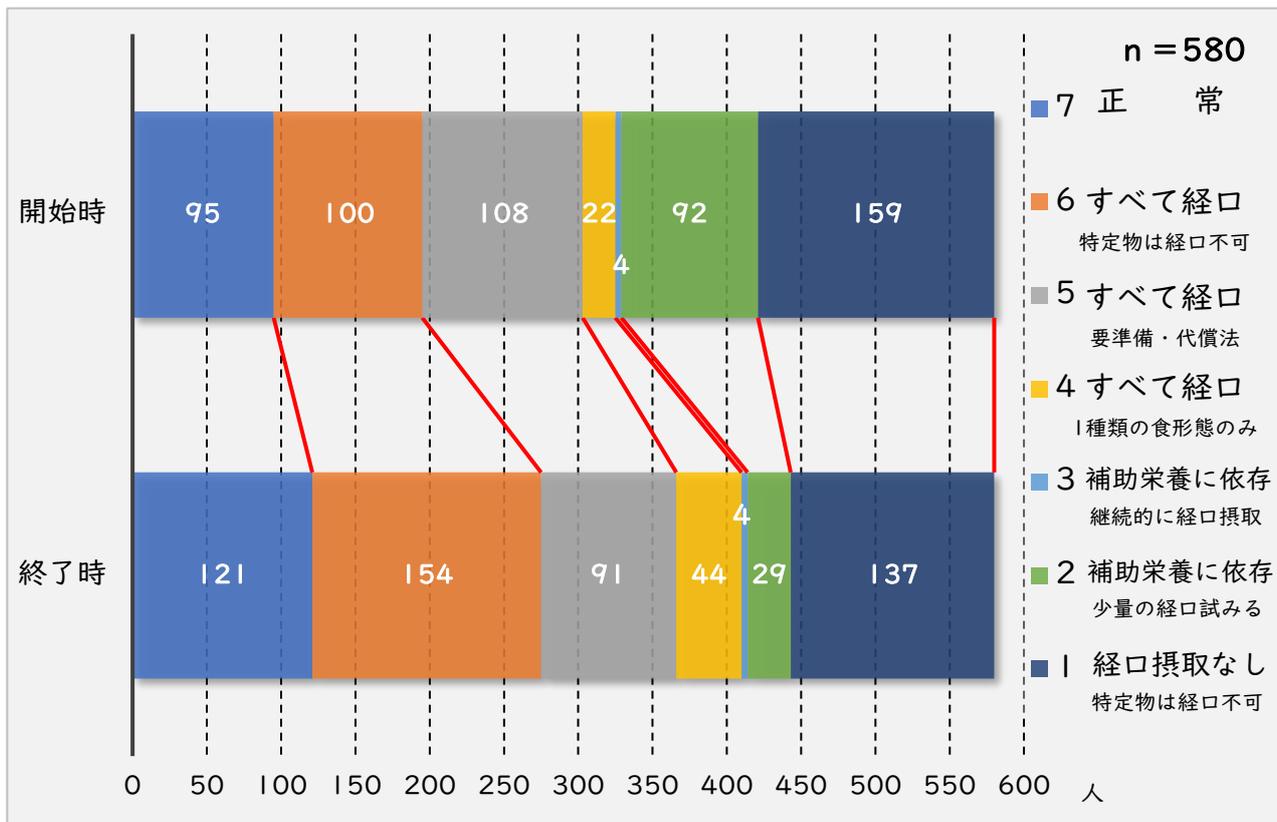


退院先	人数	退院先	人数
自宅	243	療養病院	39
介護老人保健施設 (鷺栖の里)	18	介護医療院	22
介護老人保健施設	37	有料老人ホーム	19
特別養護老人ホーム (たかとり)	12	グループホーム	6
特別養護老人ホーム	40	死亡退院	81
急性期病院	32	その他	7
平成まほろば病院	24		

▶FIM（食事項目）から見た変化



▶FOIS（Functional Oral Intake Scale）から見た変化



 社会医療法人 平成記念会
平成記念病院